

光										稱																								
2089	2088	2087	2086	2085	2084	2083	2082	2081	2080	2079	2089	2088	2087	2086	2085	2084	2083	2082	2081	2080	2079													
享永 日	長正 庚	34 未丁	33 午丙	32 巳乙	31 辰甲	30 卯癸	29 寅壬	28 丑辛	27 子庚	26 亥己	享永 日	長正 庚	34 未丁	33 午丙	32 巳乙	31 辰甲	30 卯癸	29 寅壬	28 丑辛	27 子庚	26 亥己													
持					義					量					持																			
○十月、赤松満祐反す、討て之を平く。					○正月、持統す、義朝、鎌倉、持統兵不満なり、○帝、鎌倉を御宗廟に遷して定む、○兩統更立の事、紛紜安からず、○七月、帝崩す、○二十七日、藤原冬家薨す、○後、小松院政を聴く、○明主、時給師を求め、○八月、北畠満雅亂をなす、討て之を平く。					○二月、義持將軍の職を辭し、義量を以て之に代ふ、○義持の家等執政す、○使者一切を待て歸る、○義持、又大藏經の版を求む、○義朝、使を遣し、好む修め、伴を遣さん、○五月、小栗満重、持統兵に反す、討せらる。					○太上皇、佛骨を宮中に迎ふ、○朝鮮、大藏版なきを以て辭す、○後、藤原山帝崩す、○義持、持統和す。					○五月、義持朝鮮に大藏經を求む、○明の伴を遣す。					○高麗、太神宮、國司遣らす、○義持の醫師、孤を付けたりとて誅せらる、○藤原に屋敷あり、○明使來る、○澁川義俊、使を朝鮮に遣す、○六月、大旱、大に饑來る。					○高麗、太神宮、國司遣らす、○義持の醫師、孤を付けたりとて誅せらる、○藤原に屋敷あり、○明使來る、○澁川義俊、使を朝鮮に遣す、○六月、大旱、大に饑來る。				
宗					宣					世					世																			
4	3	2	1	0	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	10	9	8	7	6	5													
○鈔關を設く。	○順佐、右都御史となす、○順輔を立て、太子子となす。	○交趾、布政司を罷む。	○八月、漢王高麗叛す、帝征して之を降す。	○太子、壽基即位す。	○帝、北巡中、楡木川に至て崩す。	○阿魯、義興和に降す、○帝親ら將として、阿魯、台五、其哈を征す。	○帝、北征、○孟賢、誅に伏す。	○帝、北京にて朝賀を受く。	○唐、養兒、亂を爲す、討て之を平く。	○朝鮮、世宗、○御製佛曲成る。	○ハスシット人、サキソニー、フランスニア及びバヴァリア等を侵す。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。												
1429	1428	1427	1426	1425	1424	1423	1422	1421	1420	1419	1440	1439	1438	1437	1436	1435	1434	1433	1432	1431	1430													
○第四月二十九日、五月八日、ジャンダーク、英兵を破り、オルレアンを圍むを解く。	○ジャンダークの功業、○オルレアンを圍む。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○抽器の發明、○東羅馬帝、ウロン、マレオロガス七世即位す。	○セームス一世、スコットランドの政權を握る、○ア、ンチ、ゴープ、グレンメント二世立つ。	○ハンリー六世、イングランド王となす、○スコットランド王、本國に還る、○佛王、チ、ト、リス七世、○アムラス二世、コンスタンチノープルを圍む。	○アムラット二世、再びオットマン帝國を統一す。	○第五月二十一日、トロイスの條約、○ハンリー、メロワのルイ三世、チ、ト、ブルのウ、ロン十二世を伐つ。	○ホ、ヘ、ミ、キ、人、黨、を、樹、つ、○ハ、ス、シ、ット、の、戰、争、○葡、萄、牙、人、マ、テ、イ、ラ、島、を、侵、見、す。	○佛人、パリを復す、○イ、グ、ロー、の、條、約。	○シギスマント死す、日耳曼及びボヘミアのルキセ、ン、ア、ル、ク、朝、の、終、り、○ス、コ、ット、ラ、ン、ド、王、セ、ム、ス、一、世、終、ら、る。	○ハ、ス、シ、ット、人、ア、ル、バ、ート、二、世、立、つ、○フ、ラ、ン、ク、の、會、議、○ク、リ、テ、ン、ベル、ク、活、動、活、字、を、用、ひ、て、印、刷、を、行、ふ。	○メ、テ、シ、イ、フ、ロ、ー、レ、ン、ス、を、治、む、至、九、十、四、年、○希、臘、羅、馬、の、教、門、再、び、一、に、歸、す、○佛、國、々、會、堂、僧、兵、を、殺、す。	○フレアック三世、選舉せられて日耳曼帝となる。	○佛人、パリを復す、○イ、グ、ロー、の、條、約。	○シギスマント死す、日耳曼及びボヘミアのルキセ、ン、ア、ル、ク、朝、の、終、り、○ス、コ、ット、ラ、ン、ド、王、セ、ム、ス、一、世、終、ら、る。	○ハ、ス、シ、ット、人、ア、ル、バ、ート、二、世、立、つ、○フ、ラ、ン、ク、の、會、議、○ク、リ、テ、ン、ベル、ク、活、動、活、字、を、用、ひ、て、印、刷、を、行、ふ。	○メ、テ、シ、イ、フ、ロ、ー、レ、ン、ス、を、治、む、至、九、十、四、年、○希、臘、羅、馬、の、教、門、再、び、一、に、歸、す、○佛、國、々、會、堂、僧、兵、を、殺、す。	○フレアック三世、選舉せられて日耳曼帝となる。	○佛人、パリを復す、○イ、グ、ロー、の、條、約。	○シギスマント死す、日耳曼及びボヘミアのルキセ、ン、ア、ル、ク、朝、の、終、り、○ス、コ、ット、ラ、ン、ド、王、セ、ム、ス、一、世、終、ら、る。	○ハ、ス、シ、ット、人、ア、ル、バ、ート、二、世、立、つ、○フ、ラ、ン、ク、の、會、議、○ク、リ、テ、ン、ベル、ク、活、動、活、字、を、用、ひ、て、印、刷、を、行、ふ。	○メ、テ、シ、イ、フ、ロ、ー、レ、ン、ス、を、治、む、至、九、十、四、年、○希、臘、羅、馬、の、教、門、再、び、一、に、歸、す、○佛、國、々、會、堂、僧、兵、を、殺、す。	○フレアック三世、選舉せられて日耳曼帝となる。										

後										花										圓																																																																					
2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100																																																									
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																									
庚辰	辛巳	壬午	癸未	甲申	乙酉	丙戌	丁巳	戊午	己未	庚申	庚辰	辛巳	壬午	癸未	甲申	乙酉	丙戌	丁巳	戊午	己未	庚申	庚辰	辛巳	壬午	癸未	甲申	乙酉	丙戌	丁巳	戊午	己未	庚申																																																									
教										義										宗																																																																					
○北畠満雅、南朝恢復を謀る、○二月、筑紫の富商四人を京に移す、○多武峰僧亂を作す。										○鎌倉始めて永享の號を用ふ。										○二月、山徒神興を動かす、○六月、明使來る、○僧中野を明に遣はす、○後、小松帝崩す、○五月十七。										○山徒乘運、及び五山の僧數十人を斬る、山徒又擾る、○滿雅卒す。										○小笠原村土地を争ひ戦ふ、○中醫歸る、○僧惠風明に往く。										○三月、義教、諸將を道り多武峰を攻む、○八月、楠氏の族兵を河内に起す、○十月、義教の館に幸す。										○憲實上野に反す、持統、討つたす、○持統反く、○雅世、新撰古今集の勅撰、以後歌集の勅撰なし、○五月、義教、一色義範を殺す。										○帝居を泉殿に移し、方位を避く、持統自殺す、○上杉氏、坂東を管領す、○四月、邊民浙東に寇す、○朝鮮物を獻す、○府、答、ふる、に、影、樹、大、刀、漆、器、を、以、て、す、○十二月、朝鮮使を送る。										○二月、結城氏朝、春王、安王、を、率、し、亂、を、な、す、○二月、朝鮮の使歸る、楠殿及び太刀漆器を贈る。									
宗					宣					世					世																																																																										
5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5																																																											
○寶藏、楊榮卒す。	○京都九門を作る、○思任、後を討す。		○楊族入朝す。	統正	○宣宗、寶藏を撰す、○帝崩す。	○宣德、續を續る、○九月、帝、遷、を、遷、す。	○元且、燈を内苑に張る、○太平、聖德、詩十、章、を、作、る。	○天竺、白、鳥、遠、國、來、貢す。	○金、幼、政、卒、す。	○夏、元、吉、卒、す。	○朝鮮、世宗、○御製佛曲成る。	○ハスシット人、サキソニー、フランスニア及びバヴァリア等を侵す。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。																																																											
1440	1439	1438	1437	1436	1435	1434	1433	1432	1431	1430	1440	1439	1438	1437	1436	1435	1434	1433	1432	1431	1430	1440	1439	1438	1437	1436	1435	1434	1433	1432	1431	1430																																																									
○フレアック三世、選舉せられて日耳曼帝となる。	○メ、テ、シ、イ、フ、ロ、ー、レ、ン、ス、を、治、む、至、九、十、四、年、○希、臘、羅、馬、の、教、門、再、び、一、に、歸、す、○佛、國、々、會、堂、僧、兵、を、殺、す。	○ハ、ス、シ、ット、人、ア、ル、バ、ート、二、世、立、つ、○フ、ラ、ン、ク、の、會、議、○ク、リ、テ、ン、ベル、ク、活、動、活、字、を、用、ひ、て、印、刷、を、行、ふ。	○シギスマント死す、日耳曼及びボヘミアのルキセ、ン、ア、ル、ク、朝、の、終、り、○ス、コ、ット、ラ、ン、ド、王、セ、ム、ス、一、世、終、ら、る。	○佛人、パリを復す、○イ、グ、ロー、の、條、約。	○アルラスの條約、英佛和す。	○タボライト人、カリキستن人に敗る。	○印刷術の發明。	○ポーチニガ、ル、人、ア、ン、ノ、ル、ス、を、取、る。	○英人、ア、ヤ、ン、ダ、ーク、を、殺、す、○マ、セ、ル、の、教、令、を、廢、す、○ユ、ー、ゲ、ニ、ア、ス、四、世、法、王、と、な、る、○第、十、二、月、ハ、ン、リー、六、世、巴、里、に、於、て、王、位、に、即、く。	○ハスシット人、サキソニー、フランスニア及びバヴァリア等を侵す。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○ハスシット人、オームシツケに勝つ。	○抽器の發明、○東羅馬帝、ウロン、マレオロガス七世即位す。	○セームス一世、スコットランドの政權を握る、○ア、ンチ、ゴープ、グレンメント二世立つ。	○ハンリー六世、イングランド王となす、○スコットランド王、本國に還る、○佛王、チ、ト、リス七世、○アムラス二世、コンスタンチノープルを圍む。	○アムラット二世、再びオットマン帝國を統一す。	○第五月二十一日、トロイスの條約、○ハンリー、メロワのルイ三世、チ、ト、ブルのウ、ロン十二世を伐つ。	○ホ、ヘ、ミ、キ、人、黨、を、樹、つ、○ハ、ス、シ、ット、の、戰、争、○葡、萄、牙、人、マ、テ、イ、ラ、島、を、侵、見、す。	○佛人、パリを復す、○イ、グ、ロー、の、條、約。	○シギスマント死す、日耳曼及びボヘミアのルキセ、ン、ア、ル、ク、朝、の、終、り、○ス、コ、ット、ラ、ン、ド、王、セ、ム、ス、一、世、終、ら、る。	○ハ、ス、シ、ット、人、ア、ル、バ、ート、二、世、立、つ、○フ、ラ、ン、ク、の、會、議、○ク、リ、テ、ン、ベル、ク、活、動、活、字、を、用、ひ、て、印、刷、を、行、ふ。	○メ、テ、シ、イ、フ、ロ、ー、レ、ン、ス、を、治、む、至、九、十、四、年、○希、臘、羅、馬、の、教、門、再、び、一、に、歸、す、○佛、國、々、會、堂、僧、兵、を、殺、す。	○フレアック三世、選舉せられて日耳曼帝となる。	○佛人、パリを復す、○イ、グ、ロー、の、條、約。	○シギスマント死す、日耳曼及びボヘミアのルキセ、ン、ア、ル、ク、朝、の、終、り、○ス、コ、ット、ラ、ン、ド、王、セ、ム、ス、一、世、終、ら、る。	○ハ、ス、シ、ット、人、ア、ル、バ、ート、二、世、立、つ、○フ、ラ、ン、ク、の、會、議、○ク、リ、テ、ン、ベル、ク、活、動、活、字、を、用、ひ、て、印、刷、を、行、ふ。	○メ、テ、シ、イ、フ、ロ、ー、レ、ン、ス、を、治、む、至、九、十、四、年、○希、臘、羅、馬、の、教、門、再、び、一、に、歸、す、○佛、國、々、會、堂、僧、兵、を、殺、す。	○フレアック三世、選舉せられて日耳曼帝となる。																																																													

後										花										前												
2111	2110	2109	2108	2107	2106	2105	2104	2103	2102	2101	2111	2110	2109	2108	2107	2106	2105	2104	2103	2102	2101	2111	2110	2109	2108	2107	2106	2105	2104	2103	2102	2101
3	2	徳寶	5	4	3	2	安文	3	2	吉嘉	3	2	徳寶	5	4	3	2	安文	3	2	吉嘉	3	2	徳寶	5	4	3	2	安文	3	2	吉嘉
辛酉	午庚	己巳	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛	辛酉	午庚	己巳	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛	辛酉	午庚	己巳	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	亥癸	戌壬	酉辛
政										政										政												
<p>○四月、上杉清方、結城を攻む。氏朝死し、春王、安王執はる。○六月、赤松祐義、殺す。九月、誅府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。</p>										<p>○五月、高麗使來り。○六月、赤松祐義、殺す。○九月、誅府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。</p>										<p>○四月、上杉清方、結城を攻む。氏朝死し、春王、安王執はる。○六月、赤松祐義、殺す。九月、誅府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。</p>												
宗										宗										宗												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												
英										英										英												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												
帝										帝										帝												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												
景										景										景												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												

後										花										前												
2122	2121	2120	2119	2118	2117	2116	2115	2114	2113	2112	2122	2121	2120	2119	2118	2117	2116	2115	2114	2113	2112	2122	2121	2120	2119	2118	2117	2116	2115	2114	2113	2112
3	2	正寛	3	2	長長	2	正康	3	2	徳享	3	2	正寛	3	2	長長	2	正康	3	2	徳享	3	2	正寛	3	2	長長	2	正康	3	2	徳享
午壬	巳辛	辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬	午壬	巳辛	辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬	午壬	巳辛	辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬
政										政										政												
<p>○二月、地大に震ふ。○六月、赤松祐義、殺す。○九月、誅府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。</p>										<p>○二月、地大に震ふ。○六月、赤松祐義、殺す。○九月、誅府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。</p>										<p>○二月、地大に震ふ。○六月、赤松祐義、殺す。○九月、誅府、府に伏す。○六月、安房を取る。○大内、太宰を取る。○府、府に伏す。</p>												
宗										宗										宗												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												
英										英										英												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												
帝										帝										帝												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												
景										景										景												
<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>										<p>○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。○石原兼光、死す。</p>												

後 土 御 門										
2123	2124	2125	2126	2127	2128	2129	2130	2131	2132	2133
4	5	6	正文丙	仁應丁	2	明文己	2	3	4	5
未乙	申丙	酉丁	戌戊	亥己	子庚	丑辛	寅壬	卯癸	辰甲	巳乙
政 義										
○七月帝位を成人に禪る。○法印普賢、猊樂を興行す。○世音阿彌等役者たり、將軍衣服を授けて之を長す。○十二月、義政義親を子にす。○村上某、朝鮮と通商す。	○三月、義政遊樂佳美を極む、賦役度無し、天下亂を思ふ。○十一月、義尚生る。○幕府、朝鮮銀を明に求む。○斯波義敏京に還る。	○二月、義政府を朝鮮に贈る。○四月、波斯兵破る、房顯卒す。○山名細川際を生し京師騷然たり。	○正月、管領政長出奔す。○細川、山名京師に戦ふ、兩軍合せて二十七萬人。○山名、上皇の名を請ひて名をなす。○天皇、上皇神符を賜ひ、室町に幸す。○義兼、管領たり。○平方忠吉、朝鮮と約して、義に一船を遣る。○宗義、七隻を遣る。朝鮮人筑前に漂着す。	○七月、中上杉重定、足利義隆を討つ。○五月、勝元、重定を討つ。○九月、義隆、重定を討つ。○義隆、重定を討つ。○義隆、重定を討つ。	○八月、僧光以を朝鮮に遣す。○明年正月、後花園院を葬るに兵士三千、川内、義隆を加て護衛す。	○大友親常使を朝鮮に遣はす。○小貳頼忠、朝鮮と貿易を約す。○信秀、尾張を取り、越前を取り、越前を治す。○五月、頼定古河を攻む。○成氏、千葉に奔る。○東常義、宗經に傳ひ、古今傳授始る。	○成氏古河を復し政和を和す。○勝元の軍振ふ。○十月、義政、朝鮮に屏風襦扇を贈る。	○三月、山名宗全卒す。○十二月、義政、朝鮮を義尚、嗣く。時に九歳。○五月、勝元卒す。○富山氏、副使を明國に遣す。		
宗 憲										
7	8	化	2	3	4	5	6	7	8	9
○李賢十事の諫を上る。○帝崩す、詔して宮妃の殉葬を罷む。	○先師に廟號す。○荆襄起る。	○李賢卒す。	○諸所天變あり。	○熈隆皇太后、錢氏崩す。	○大に諸將を賞す。○劉定之卒す。	○皇子西内に生る。	○始めて清果、長運法を定む。○子祐極を立す。太子にす。	○彭時卒す。○子祐立す。太子にす。	○大學士商輅、續資治通鑑綱目を進む。	○新羅入貢。○四廠をおく。○商輅引病歸す。
1483	1484	1485	1486	1487	1488	1489	1490	1491	1492	1493
○女王マリーガレット、英國に侵入す。第五月十五日、ヘンリ八世に於て破らる。○パイアス二世、十字軍を起し、土耳其を討ん、遂にアンコナに死す。	○ルイ十一世、パブリック、グールド同盟を戦ふ。○コンフランの條約。	○ヴェニス人、アセンヌを取る。○トルンの條約。○ランド王、カンミール四世、チエートン派の騎士を破り、四普魯四を取る。	○チャールズ、セ、ポールド、バーガンジー公となる。	○ルイ十一世、チャールズ、セ、ポールド、ミペーロンに合す。	○アラゴン、カスチル二王國の合一。○アラゴン王、カスチル王、カスチルの女王、イサベラと結婚す。○ロレンソ、セ、マクニフ、セント、フローレンス州の首領となる。	○ヘンリー六世、ワールワグ、伯爵の爲に復位す。	○エドワード四世、再び英國に入る。○第四月十四日、バルフォアに於て、ランカスター家破らる。○蘭人初て、赤道直下を過ぐ。○シギスムス四世、法王となる。	○チャールズ、セ、ポールド、ホルマンギーを劫掠す。	○アルマクナク、家及び諸貴族の零落。	

後 土 御 門										
2134	2135	2136	2137	2138	2139	2140	2141	2142	2143	2144
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
午甲	未乙	申丙	酉丁	戌戊	亥己	子庚	丑辛	寅壬	卯癸	辰甲
義 尙										
○九月、義政、明の勘合信印を失ひ、朝鮮を介して明に求む。朝鮮應ぜず。	○元會の儀、費用乏しく省禮す。○僧侶年用、林明に往く。○釋兼壽、富樫氏を亡し加賀を領す。○八月、義政、明に勘合符及び香物を求む。	○四方拜再興。○室町火ヶ北小路殿に幸す。儀仗備はらず。○丁神器をかつく。○政基、關白となる。	○春、天皇宮に還る。○東西軍、屋舎を火きて各歸國す。○政長、又管領たり。○志佐某、朝鮮と一船を約す。鹽津、商某、一二船を約す。	○廷臣、俸祿充たず。朝章、欠典多し。○成氏、願定を和す。	○北小路行宮火く。○曆の十月、小を改て大にす。○義政、東山別業を築く。○義尙、始て政を執る。	○武人、京師に七關を設けて、錢を徵し、宮闕造營料を納す。○唯一神道唱者、占部兼俱、侍讀たり。○一條、教房、義尙と和せず。	○一休寂す。論曲江口等は、其作といふ。○一條兼其、義尙と和せず。○公孫、根原花鳥、余情、權謀治要の著あり。○義政、義尙と和せず。	○五月、朝鮮大藏經及び胡椒、藥劑を足利氏に贈る。○義尙、攝津に還す。政長之を耐つ。	○銀閣寺成る。○三月、明に、銅錢十萬緡を求む。○義尙、義政、明に、贈りし兵器、刀劍六百十九口、長刀四百柄、槍二百柄に及ぶ。○僧心月、圭軍、明に入る。	○應仁亂、後朝廷始て奏絶す。○京師、盜横行す。
宗 憲										
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
○李賢十事の諫を上る。○帝崩す、詔して宮妃の殉葬を罷む。	○先師に廟號す。○荆襄起る。	○李賢卒す。	○諸所天變あり。	○熈隆皇太后、錢氏崩す。	○大に諸將を賞す。○劉定之卒す。	○皇子西内に生る。	○始めて清果、長運法を定む。○子祐極を立す。太子にす。	○彭時卒す。○子祐立す。太子にす。	○大學士商輅、續資治通鑑綱目を進む。	○新羅入貢。○四廠をおく。○商輅引病歸す。
1474	1475	1476	1477	1478	1479	1480	1481	1482	1483	1484
○イサベラ、及びフルゲナンド、カスチル王位に昇る。○西班牙の一統。○葡萄牙人始て、ワレド島海角に至る。	○エドワード四世、佛國を征す。○クリミヤ、土耳其の屬下となる。	○第三月三日、グラレンソンの戦。○バーガンジー公、チヤムレス、瑞西諸州と戦て敗北す。○第六月二十二日、ムルテン、モラットとの戦同上。	○第一月五日、ナンシーの戦。○チャールズ、瑞西諸州と戦て敗北す。○バーガンジーのメリー、オーストリアのマキシミリアンと結婚す。	○エドワード四世、其兄を殺す。○モンメット二世、アルバニアを征服す。	○露西亞、薩祖の附屬を離る。○第八月、マキシミリアン、佛兵を破る。	○西班牙に、宗教裁判所起る。○モンメット二世、ローグを討つ。功なし。○露西亞帝、イヴァン四世、露西亞の統御を離る。	○プロウエンス、佛國と合す。○マシヤセット二世立つ。	○フルゲナンド、イサベラ、グラナダ王國を征せんとして兵を擧ぐ。○アマリアスの條約。マキシミリアン、ルイ十一世と條約す。	○佛王チャールズ八世。○英王リチャード三世。	○インノーセント八世、法王となる。

後 土 御 門										
2155	2154	2153	2152	2151	2150	2149	2148	2147	2146	2145
4 卯乙	3 寅甲	2 丑癸	應明 子壬	3 亥壬	2 戌庚	德延 日己	2 申戊	亨長 未丁	18 午戊	17 巳乙
<p>○義政落飾、○徳政を行ふ、○兩島山各兵を収む。 ○徳政を行ふ、○政元管領となる、○上杉定正、其將道 灌を殺す、○八月、義政管領を以て朝鮮に大蔵經を求 む。 ○政忠關白たり、○里見義賢卒す、○兩上杉の亂、○伊 勢長氏始て今川氏に仕ふ、○將軍佐々木高頼を伐つ、 陣中閑あれば、春秋孝經を講す。 ○冬、真關白となる、○義尙、名を義照と更む、○加越一 向宗亂を作す。 ○將軍義隆陣中に薨す、年二十五、○義視上洛す、○徳 政を行ふ、○九月、等堅佛經を獲て歸朝す。 ○義政薨す、○足利義植將軍となる。 ○義視薨す、○政知其子茶々に殺さる、長氏、茶々を破 り其地を取る。 ○八月、將軍義植六角高頼を近江に伐つ克たす。 ○二月、藤原尚通を以て關白となす、○四月、義植島山 義隆を討ち克たすして周防に奔る、○政長戰死す、○政 元將軍を廢立し義植越中に奔る。 ○三浦義時時節を弑す、○義植、未だ職を免せざれど し朝廷、義隆を怖れて將軍に任す、故に二將軍あり、○ 細川政元管領す。 ○長氏小田原城を取り之に據る、○雪村寂す(或云元 建三年常陸に在り)、○大内政弘卒す、○大坂本願寺</p>										
<p>○赤松政則卒す、○美濃亂る齋藤利田、土岐元頼を殺 す。 ○成氏卒す、○帝の世に門入堆朱堆鼎を始む、○冬、真復 た關白となる。 ○東海道地大に震ふ、瀛名湖口潰る、○義植、越前に至 る。 ○正月、將軍一切經版を朝鮮に求む、○茶道立花の名 人珠光歿す、○十月、又僧正龍を遣り佛經を求む、○義 植周防に奔る。 ○天皇崩す、壽五十九、朝廷に葬禮の資なく空しく柩を 黒月におくと四十餘日。 ○義植の官爵を削る、管領政元の奏請に依る、○義植、 兵を九州に募る、○大内義興を討つ。 ○連歌の類聚宗義撰す、年八十二、○政元職を討て之を 平く。 ○三月、將軍、象牙を朝鮮に求む、○三月、僧周肯をして、 勘合符を朝鮮に求めしむ。 ○京師賊起り、市民之を宮垣中に避く、○十月、顯定、朝 長を川越に圍む、○天下大に饑ゆ。 ○服後亂る、○早雲の威、關東に振ふ、○三月、顯定期其 と和を結ぶ。 ○加賀一向宗亂をなす、○長尾為景其主上杉房能を弑 す、○盛舟弑す、○九月、遠良又た朝鮮に寇す。</p>										
<p>○彰華、翰林學士とな る。 ○高橋卒す、陣選卒す。 ○大學生義補成る、○ 帝崩す。 ○僧臣日に侍講す、○ 憲宗實錄成る。 ○楊守陳卒す。 ○預備倉を設く。 ○第五人を封して王となす。 ○劉告罷めらる、○中 顯法を更む、○子、皇照 とな立て、皇太子となす。 ○邱濬卒す。</p>										
<p>○ハンガリー王マツシアス、コルウチナスウインナを 取る、○第八月廿二日ホスワリスの戰、リチナード 三世リチモンド伯ヘンリー七世の爲に殺さる、(魯 西戰の終り)。 ○ヘンリー七世、ヨーク家の、エリザベスと結婚し、 ヨーク、ランカスター兩家合一す、○スコットランド王 デイアス、亞非利加の南岸を航し、喜望峯を發見す。 ○ラムバート、シムチル英國王位を得んとを謀る。 ○チャールズ八世の妹アンチ、ポージェウ、オルレ アン公、ルイの援軍を破る、○スコットランド王セ イムス三世、貴族と戰て敗死す。 ○チャールズ八世、ブリタニー女公アンと結婚し、佛 國、ブリタニー合一す。 ○ポルトガル、イサベラ、アラナダに入る、猶太 人國外に放逐せらる、○ヘンリー七世、佛國に侵入 す、○ブレキサンター六世、法王となる、○コロンブ ス、キューバ島を發見す。 ○コロンブス、西班牙に歸り再び航海を始む、○チ ナールス八世、マキシミリアンと、セシリスにて條 約す、○日耳曼帝フレデリック三世崩す、○ポルト リゴを發見す。 ○佛、佛戰爭始る、(至五百二十八)、○ジャマイカを 發見す。 ○チナールス八世、チンブルスを征服す、法王アン キサンダー六世、同盟軍を起し之を拒き、チナール ス佛國に退く。 ○ロドリッポ、ジョンと結婚す。 ○ガボット、北アメリカの大陸を發見す、○ヴァスコ、 ヴァイバック、喜望峯を過り、印度洋に航す、○メーキン、 ヴァイバック、コロンブスに兵を奪く。 ○第三次の航海にてコロンブス南亞米利加を發見 す、○佛王ルイ十二世。 ○マキシミリアン、瑞西を伐て利あらず、○佛人、ミラ ンを伐て利あり。 ○葡萄牙人、ブラケルの海岸を發見す。 ○イスメイル、ジャハ、ヘルシアを一統して、其王とな る、○ルイ十二世、及びアラゴン、ブルガナンド、 ナーブルスを征す、○コロンブス、ヒスパニオラ統 治者の命に依り捕へられ、西班牙に送らる。 ○フランス、西班牙と戰を以て太利に起す、○コロン ブス、第四次の航海をなす、○ヴァンペル、ヒの大 學建つ。 ○法王、アレキサンダー六世死す、○セーザ、ギル ゲア、アロームより追放せらる、○西班牙王、チナール スを得、○スコットランド王、セシリス、四世、マイガ レット、チナールと結婚す。 ○カスチルの女王、イサベラ死す。 ○マシル四世、國王となる。 ○コロンブス、死す、○葡萄牙人、マダガスカル島を發 見す、○ヒリッポ、一世死す、○ジュリアス二世、セント ヒーターを再建す。</p>										

後 土 御 門										
2168	2165	2164	2163	2162	2161	2160	2159	2158	2157	2156
3 寅丙	2 丑乙	正永 子甲	3 丑癸	2 戌壬	應文 日辛	9 申庚	8 未己	7 午戊	6 巳丁	5 辰丙
<p>○加賀一向宗亂をなす、○長尾為景其主上杉房能を弑 す、○盛舟弑す、○九月、遠良又た朝鮮に寇す。 ○服後亂る、○早雲の威、關東に振ふ、○三月、顯定期其 と和を結ぶ。 ○京師賊起り、市民之を宮垣中に避く、○十月、顯定、朝 長を川越に圍む、○天下大に饑ゆ。 ○京師賊起り、市民之を宮垣中に避く、○十月、顯定期、朝 長を川越に圍む、○天下大に饑ゆ。 ○連歌の類聚宗義撰す、年八十二、○政元職を討て之を 平く。 ○三月、將軍、象牙を朝鮮に求む、○三月、僧周肯をして、 勘合符を朝鮮に求めしむ。 ○京師賊起り、市民之を宮垣中に避く、○十月、顯定期、朝 長を川越に圍む、○天下大に饑ゆ。 ○服後亂る、○早雲の威、關東に振ふ、○三月、顯定期其 と和を結ぶ。 ○加賀一向宗亂をなす、○長尾為景其主上杉房能を弑 す、○盛舟弑す、○九月、遠良又た朝鮮に寇す。</p>										
<p>○僧義金峰等、諫せら る。 ○大明會典を修む。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔廣に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。 ○孔子廟に天災火あり。</p>										
<p>○ハンガリー王マツシアス、コルウチナスウインナを 取る、○第八月廿二日ホスワリスの戰、リチナード 三世リチモンド伯ヘンリー七世の爲に殺さる、(魯 西戰の終り)。 ○ヘンリー七世、ヨーク家の、エリザベスと結婚し、 ヨーク、ランカスター兩家合一す、○スコットランド王 デイアス、亞非利加の南岸を航し、喜望峯を發見す。 ○ラムバート、シムチル英國王位を得んとを謀る。 ○チャールズ八世の妹アンチ、ポージェウ、オルレ アン公、ルイの援軍を破る、○スコットランド王セ イムス三世、貴族と戰て敗死す。 ○チャールズ八世、ブリタニー女公アンと結婚し、佛 國、ブリタニー合一す。 ○ポルトガル、イサベラ、アラナダに入る、猶太 人國外に放逐せらる、○ヘンリー七世、佛國に侵入 す、○ブレキサンター六世、法王となる、○コロンブ ス、キューバ島を發見す。 ○コロンブス、西班牙に歸り再び航海を始む、○チ ナールス八世、マキシミリアンと、セシリスにて條 約す、○日耳曼帝フレデリック三世崩す、○ポルト リゴを發見す。 ○佛、佛戰爭始る、(至五百二十八)、○ジャマイカを 發見す。 ○チナールス八世、チンブルスを征服す、法王アン キサンダー六世、同盟軍を起し之を拒き、チナール ス佛國に退く。 ○ロドリッポ、ジョンと結婚す。 ○ガボット、北アメリカの大陸を發見す、○ヴァスコ、 ヴァイバック、喜望峯を過り、印度洋に航す、○メーキン、 ヴァイバック、コロンブスに兵を奪く。 ○第三次の航海にてコロンブス南亞米利加を發見 す、○佛王ルイ十二世。 ○マキシミリアン、瑞西を伐て利あらず、○佛人、ミラ ンを伐て利あり。 ○葡萄牙人、ブラケルの海岸を發見す。 ○イスメイル、ジャハ、ヘルシアを一統して、其王とな る、○ルイ十二世、及びアラゴン、ブルガナンド、 ナーブルスを征す、○コロンブス、ヒスパニオラ統 治者の命に依り捕へられ、西班牙に送らる。 ○フランス、西班牙と戰を以て太利に起す、○コロン ブス、第四次の航海をなす、○ヴァンペル、ヒの大 學建つ。 ○法王、アレキサンダー六世死す、○セーザ、ギル ゲア、アロームより追放せらる、○西班牙王、チナール スを得、○スコットランド王、セシリス、四世、マイガ レット、チナールと結婚す。 ○カスチルの女王、イサベラ死す。 ○マシル四世、國王となる。 ○コロンブス、死す、○葡萄牙人、マダガスカル島を發 見す、○ヒリッポ、一世死す、○ジュリアス二世、セント ヒーターを再建す。</p>										

後		柏					原				
2167	2168	2169	2170	2171	2172	2173	2174	2175	2176	2177	
4 甲丁	5 辰戌	6 己巳	7 午未	8 未辛	9 申壬	10 酉癸	11 戌甲	12 亥乙	13 子丙	14 丑丁	
<p>○四月、政元其家宗四元近に弑され、元管領なる。○三好氏始て著はる。○十一月、邊民加徳島に寇す。</p> <p>○四月、大内義興、義植を奉じて、東上す。○七月、義植職を復す。○馬術家八條房繁殺す。○邊民全羅道に寇す。</p> <p>○義植、江州に奔る。○越後亂る。○二月、義植江東を伐ち不克。</p> <p>○七月、顯定爲京を討ち戰死す。○釜山の居留民釜山熊川を陥れ對馬に遷る。</p> <p>○大内義興、僧桂橋を明に遣はし、佛典義註を請ふ。○佛湖中を朝鮮にやり和を請す。○八月、細川政賢京を攻めて克たす。○義澄死す。○宗氏朝鮮を和す。</p> <p>○早雲、岡崎を陥る。○後藤祐乘死す。祐乘會て一胡桃に二十一人、社六十八旗を彫刻す。○宗氏、條約を改め、松二十五隻を減す。</p> <p>○内侍所神樂供具はらず、儀を停む。○義植、近江に奔り、五月、京に還る。○陶工、祥瑞五郎大輔、明より歸る。始て磁器あり。</p> <p>○一條冬良、増鏡新瓦、玖珠集等の著者死す。</p> <p>○義植、高倉第に徙る。○永正年間、焚燒始る。○明人、館屋京都に焚燒を始む。○義興、屏風扇刀を朝鮮に贈る。</p> <p>○北近江亂る。○淺井亮政建立す。○七月、北條早雲三浦義綱を滅す。○八月、大内義興、屏風扇刀等を朝鮮に贈る。</p> <p>○毛利元就、武田元繁を斬る。○里見成義卒す。</p>											
<p>○王守仁、上疏して、請せらる。</p> <p>○蔡瑁、齊卒す。○劉大夏、獄に下す。</p> <p>○孝宗、實錄成る。</p> <p>○劉瑾、誅に伏す。○武備、平く。○馬文昇卒す。</p> <p>○彭澤、賊を破る。○李東陽、罷り免る。</p> <p>○江西、紐源洞の賊起る。</p> <p>○乾清宮、災あり。○管涔、自殺す。</p> <p>○北虜、入寇す。○劉九、を烏思藏に遣す。</p> <p>○安南王、乘輿試さる。○劉大夏卒す。</p> <p>○宣府に幸す。○魏、賊を平く。○王守仁、賊を平く。</p>											
<p>○ラファエル、國旗の面目を改む。○ヴェニスに反抗して、カンパレーの同盟成る。</p> <p>○英王、ヘンリー八世立つ。○アカナテ、の戦、佛兵、ヴェニスを破る。○ホンス、テ、レオン、ポートリコを征服す。</p> <p>○アルプ、ケルケ、葡領、ゴアを取る。○爪哇島の発見。○爪哇人、四班牙を逐はる。</p> <p>○四月、十一日、ラヴェンナの戦、佛兵勝利す。○フロリダの発見。○メキシコ、復た、フロレンスに歸る。○ジュリアス、二世、ラテララン第五次會議を開く。</p> <p>○マルボア、大洋洋発見。○八月、十六日、ケイプ、フロアデ、ヘンリー八世、佛兵を破る。○九月、九日、八世、スコットランド王、セームス、四世を破る。</p> <p>○ヘンリー八世、フランス、スコットランド、兩國と和す。</p> <p>○九月、十三日、十四日、伊國、マリアカナノの戦、佛王、フランシス、一世、ミラン侯の、瑞西同盟軍を破る。○第十二月、ウァルセ、ヘンリー八世に、依て、大法官、さなる。</p> <p>○第一月、廿三日、西班牙の、フルカ、ナンド、セ、カソリク、死す。○葡領、バルバロサ、アルカ、アの主となる。○ノイ、ヨシ、條約、チヤリス、フランシス、一世と條約す。○フランシス、二世、レナオ、十世と契約す。</p> <p>○ルーテル、宗教改革を唱ふ。○ワテラン、第五次會議舉行す。○葡領、牙人、明國に、通商す。○セリム、一世、メリョク、ス、王、朝を、七、ぼす。</p>											

後		柏					原				
2178	2179	2180	2181	2182	2183	2184	2185	2186	2187	2188	
15 辰戌	16 巳未	17 辰戌	永大 巳未	2 午未	3 未申	4 申酉	5 酉戌	6 戌亥	7 亥子	祿享 子成	
<p>○上杉朝真卒す。○義興、周防に歸る。○蝦夷亂れ、蝦夷氏之を平く。○天下大に饑り。</p> <p>○早雲、韭山に卒す。○細川澄元、攝津を侵す。</p> <p>○二月、細川澄元、細川高國と戦ひ、奪て卒す。○三好元長、削髮、海雲と云ふ。</p> <p>○此年後、始めて、式部位を行ふ。本願寺の、教、法に、據る。准門跡の始。○六月、細川高國、將軍を廢立す。新主、歳十一、○義植、海路に奔る。○大内義興、細川高國、人を明に遣はし、貿易をなす。</p> <p>○この頃、野、長田、徳本あり。中興と稱せらる。寛永七年、百十八歳にて歿す。○赤松義村殺さる。○義植、阿波に卒す。</p> <p>○尼子經久、安藝を犯す。○義興の、商船、紹興府を陥る。○府宗、嚴明に、往き、通商す。</p> <p>○正月、北條氏、綱江、戸城を取る。○大内義興、安藝を攻む。</p> <p>○土佐光信死す。三筆の一。○藤原植家、關白となる。</p> <p>○前記、録、處に、崩す。壽六十三。○波多野元清、高田に叛く。</p> <p>○六月、三好、海震、高國と戦ひ、敗れて、阿波に還る。○義晴、近江に奔り、十月、京に還る。</p> <p>○三好、京を侵し、義晴、近江に奔る。○義興、死す。子、隆隆、立つ。</p>											
<p>○復た、宣府に、如く。</p> <p>○帝、京師に、歸る。○六月、王守仁、封せらる。○六月、王守仁、封せらる。○六月、王守仁、封せらる。</p> <p>○帝、南京に、あり。積水池に、溺して、疾を得。</p> <p>○帝、京師に、還る。○約房に、崩す。</p> <p>○正月、王守仁、封せらる。○六月、王守仁、封せらる。○六月、王守仁、封せらる。</p> <p>○朱熹の、廟を、召す。</p> <p>○興獻王を、追尊して、皇帝と、す。○大禮を、更定す。</p> <p>○皇帝、實錄を、修獻す。○世廟を、作る。</p> <p>○韓文、卒す。○林俊、卒す。</p> <p>○羅敏、順を、召す。至らす。</p> <p>○王守仁、府西、諸蠻を、平く。○明倫、大典成る。</p>											
<p>○チヤリス、五世、ヘンリー八世、佛國に、侵入す。○佛兵、以、本利を、侵す。○イン、グラ、ランド、軍、スコットランドを、侵す。○クリ、スチ、ア、ン、一世、丁、抹、王、其、臣、下に、王位を、奪はる。○瑞典、丁、抹、の、屬、臣、を、脱す。○法王、グレン、ト、七世、立つ。</p> <p>○スロ、ビア、及、フ、ラン、コ、ニア、に、於て、農民の、亂起る。○セ、シ、アの、戦、騎、士、マ、ヤ、ート、倒る。</p> <p>○第二月、二十四日、バ、ウ、ア、アの、戦、佛王、フランシス、一世、日、正、王、チヤリス、五世と、戦て、敗らる。○佛、英、同盟、條約、す。○普、魯、西、公、國、建つ。</p> <p>○第一月、十四日、マ、リ、ワ、ラ、の、戦、チヤリス、五世、佛、兵、を、破る。○八月、二十九日、マ、リ、ワ、ラ、の、戦、チヤリス、五世、佛、兵、を、破る。○八月、二十九日、マ、リ、ワ、ラ、の、戦、チヤリス、五世、佛、兵、を、破る。○八月、二十九日、マ、リ、ワ、ラ、の、戦、チヤリス、五世、佛、兵、を、破る。</p> <p>○ホル、ボ、ン、島、を、荒、掠す。○グレ、メント、七世、捕はる。○メ、テ、イ、チ、フ、ロー、レン、ス、より、追、放、せらる。○イ、キ、ヤ、ハ、リ、死す。</p> <p>○グ、ノ、ア、佛の、管、轄を、脱す。○ア、ン、グ、ス、伯、ス、コ、ト、ラ、ド、ン、より、返はる。○ア、ル、バ、ート、ナ、チ、ア、ラ、イ、死す。</p>											

元		曆									
2331	2330	2329	2328	2327	2326	2325	2324	2323	2372	2321	
11 辛酉	10 庚戌	9 己巳	8 庚戌	7 未丁	6 午丙	5 巳乙	4 辰甲	3 卯癸	2 寅壬	文寬 丑辛	
綱											
○琉球入貢す。○臺灣船肥前に漂着す。○播磨民朝鮮に漂到す。											
○町人帯刀する事を禁す。○尾張の民四丹島に漂着す。○新に寺院を建つるを禁す。○藤田某密書す。刑に處す。											
○池田光政、封内に學校を設く。○末次某に命じ、明船を建造す。○松前藩に命じ、蝦夷を伐つ。○根付工の祖廟を立て置く。											
○本朝通鑑成る。○蝦夷亂る。伐つ之を平く。○漂流民巴丹より歸る。○伊達政宗、清海を密賣を禁す。○土佐派中興の密書往吉廣通す。年七十三。○大刀は二尺八寸九分。大脇差は一尺八寸を限るを令す。											
○琉球入貢す。○臺灣船肥前に漂着す。○播磨民朝鮮に漂到す。											
家											
○七月、松平信綱卒す。○家綱方廣寺の銅佛を毀ち鐘を鑄る。○驛傳を置き、量制を改む。○大砲を海軍に演習す。○位を皇太子に傳ふ。○十一月、皇宮成る。											
○殉死を禁す。○二月、甲州流軍學の祖小幡勘兵衛歿す。○日光廟に詣り、朝鮮我漢民を送り還す。○三月、蘭人來聘す。○武家法令を頒つ。											
○儒者鶴岡石齋歿す。書讀勸励に力を致せし人なり。○光平攝政たり。○林春齋、本朝通鑑、三百卷を撰び七年にして成る。											
○布帛、二丈六尺を一端と定む。○この頃、甲州の甲斐精京都都塚の羽二重織始る。											
○西洋外科醫、四支用この頃名あり。○不受不施宗日遊一派を禁す。○伯耆の民朝鮮に蘭人五島に漂着す。○徳川光國管内の新寺を毀つ。											
○筑前の民、朝鮮と密通し、處刑せらる。○足利學校に修屋金を給す。○大村の邪徒を懲り下す。○船手頭に命じ、沿海を巡視せしむ。											
○四月、外科醫、四支用この頃名あり。○不受不施宗日遊一派を禁す。○伯耆の民朝鮮に蘭人五島に漂着す。○徳川光國管内の新寺を毀つ。											
○琉球入貢す。○臺灣船肥前に漂着す。○播磨民朝鮮に漂到す。											
清											
10	9	8	7	6	5	4	3	2	15	15	
○刑部に命じ、原因を詳説せしむ。○英人臺灣に通商す。											
○南洋人南懷仁を以て欽天監副となす。											
○漳の朱經を招く。朱經風せず。											
○内大臣龍澤罷めらる。											
○農桑の業を勸む。											
○臺灣を伐つ克たす。											
○蜀賊を平く。											
○明の鄭經を伐つ。○明十七、二十世、二百九十六年。											
○成功、臺灣に卒す。○額を平く。											
○芝蘭父子清に來り、市せらる。○明主、由榔卒す。											
祖											
21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
○秋精忠、謀に伏す。○明年明の正朔絶つ。○鄭氏廿年にして亡ぶ。											
○吳世璠自殺し、雲貴平く。○鄭經臺灣に卒す。											
○水師提督、万正色厦門を破る。鄭經遁れて臺灣に歸る。○馬承隆反す。											
○臺灣、劉國軒海澄を陥る。○朱經に敗らる。○天下大に定る。											
○國軒の軍撤ふ。○三桂死す。○臺灣入寇す。											
○吳三桂を伐つ。○明年明の劉國軒朱經と漳州に戦て克つ。○蒙古察哈爾反す。											
○國に入り、秋精忠を降す。○福建略定る。○尙之信反す。											
○吳代を陥る。○江西略定る。○魁春卒す。○尙之信降る。											
○吳三桂、雲安に反す。											
○臺灣入寇。○秋精忠反す。											
○吳三桂を伐つ。○明年明の劉國軒朱經と漳州に戦て克つ。○蒙古察哈爾反す。											
○國に入り、秋精忠を降す。○福建略定る。○尙之信反す。											
○吳代を陥る。○江西略定る。○魁春卒す。○尙之信降る。											
○吳三桂、雲安に反す。											
○臺灣入寇。○秋精忠反す。											
聖											
1682	1681	1680	1679	1678	1677	1676	1675	1674	1673	1672	
○佛英兩國和蘭を攻む。○ストックホルムの條約。○佛の東印度會社ボンナチヤリを得。											
○ポリアランド王、土耳其兵を破る。○テスト、アクトの發布。○和蘭人、ニウヨーク及び、ニウジャージーに占有す。											
○ミルトン死す。○英人、和蘭と和す。○第八月十一日、セチフの戦、コンデ、ワリアムと戦ふ。											
○瑞典人、フランケンブルヒを攻め大敗す。○フイレンの戦起る。○セントゴールの寺院建つ。○ローメル光の速度を確知す。											
○ペーコン、ヴァイニニアに於て反す。○フェードル二世、露西亞王となる。											
○哲學者スピノザ歿す。○カセルの戦、佛人オーレンシのウリアムを破る。											
○和蘭同盟國佛と和す。											
○ニメーグンの和約。○スコットランドの首相シャーノの虐殺。											
○ラ、ロソフーニー死す。											
○佛王ルイ十四世、ストラスマルクを奪ふ。○カールアロン死す。											
○イヴァン五世及び、ペートル大帝即位す。○ウァリアハン、ペンシルヴァニア殖民地を見す。											
○佛相マザリン歿す。○コンスタンティン十四世の首相となる。○日耳曼、土耳其と戦ふ第一志。											
○アクト、オフ、ユニフォーム、國會を通過す。○コンチキチカット及び、ニウヘブン、移住民チャールズ二世より特許を得。											
○土耳其人、ハンガリーを破る。○カロリナ、殖民起る。											
○英人、ニウジャージーランドを有す。○佛國東印度會社起る。○第八月一日、セント、ゴットホルドの戦。○第一次のコンヴェンチアクト、アクト議會を通過す。											
○ロンドン、大に疫す。○英國和蘭と戦ふ。○西班牙王チャールズ二世即位す。											
○ダウンスの海戦。英國和蘭と戦ふ。○第九月二日、ロンドン大火。○佛國科學學校を立つ。○佛國英國と戦ふと宣言す。											
○英國、ポリアランド、佛國、デンマークの諸國、ブレマ子ザイランドに侵入す。											
○エイクス、ラ、シヤベルの條約。蘭英、佛國、佛國と和す。○西班牙、リスボン條約に依り、葡萄牙の獨立を承認す。											
○土耳其、カンナアを征す。○法王クレメント九世、アラント、燒燬を發見す。											
○ドーヴァーの秘密條約。○クレメント十世法王となる。											
○レオポルト一世、ハンガリーの自由を抑制す。											

元		曆									
2342	2341	2340	2339	2338	2337	2336	2335	2334	2333	2332	
2 戌壬	和天 酉辛	8 申庚	7 未巳	6 午戊	5 巳丁	4 辰丙	3 卯乙	2 寅甲	寶延 丑癸	12 子壬	
綱											
○光政、開闢舞水卒す。○和蘭、甲比丹の從者に洋曲を奏せしむ。洋樂の始。○琉球入貢す。○朝鮮使を遣はし來る。											
○綱吉、征夷大將軍となる。○教禁を嚴にす。○光長流る。○天和に至り、京都、織樂、儀禮にして始て、琥珀を織る。○蘭人來聘す。○清船、天皇に漂着す。											
○光國、扶桑拾葉集を上る。○林春齋卒す。○後水尾帝崩す。○八十五。○家綱歿す。○韓使、使を朝鮮に遣る。											
○放生會再興。○巴丹人漂着す。○平根山の燈臺を廢す。○東福門院歿す。											
○加茂社を修む。○正月、朝鮮人漂着す。○五月、波丹人漂着す。											
○僧心越、歸化す。											
○延寶中、契沖、大に假字の音を正す。和學の首唱者なり。○那徒を刑す。○西前の民、朝鮮に漂着す。○八月、徳川光國、備臣に命じ、髪を蓄へしむ。											
○無人島を檢す。○宗義眞、使を朝鮮に遣はす。○末次政直、密商し、隱岐に流さる。○皇宮成る。○大老、井伊直澄卒す。											
○狩野探幽守信歿す。											
○英人互市を乞ふ許さず。○慶元寂す。○皇宮火く。○三月、蘭人來聘す。○五月、清船平戸に漂着す。											
○光國始て、彰考館を開く。○石川丈山、保科正之、大橋長左衛門歿す。○蘭人、輿地圖を獻す。○讃岐の民、朝鮮に漂到す。											
家											
○放生會再興。○巴丹人漂着す。○平根山の燈臺を廢す。○東福門院歿す。											
○加茂社を修む。○正月、朝鮮人漂着す。○五月、波丹人漂着す。											
○僧心越、歸化す。											
○延寶中、契沖、大に假字の音を正す。和學の首唱者なり。○那徒を刑す。○西前の民、朝鮮に漂着す。○八月、徳川光國、備臣に命じ、髪を蓄へしむ。											
○無人島を檢す。○宗義眞、使を朝鮮に遣はす。○末次政直、密商し、隱岐に流さる。○皇宮成る。○大老、井伊直澄卒す。											
○狩野探幽守信歿す。											
○英人互市を乞ふ許さず。○慶元寂す。○皇宮火く。○三月、蘭人來聘す。○五月、清船平戸に漂着す。											
○光國始て、彰考館を開く。○石川丈山、保科正之、大橋長左衛門歿す。○蘭人、輿地圖を獻す。○讃岐の民、朝鮮に漂到す。											
祖											
21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
○秋精忠、謀に伏す。○明年明の正朔絶つ。○鄭氏廿年にして亡ぶ。											
○吳世璠自殺し、雲貴平く。○鄭經臺灣に卒す。											
○水師提督、万正色厦門を破る。鄭經遁れて臺灣に歸る。○馬承隆反す。											
○臺灣、劉國軒海澄を陥る。○朱經に敗らる。○天下大に定る。											
○國軒の軍撤ふ。○三桂死す。○臺灣入寇す。											
○吳三桂を伐つ。○明年明の劉國軒朱經と漳州に戦て克つ。○蒙古察哈爾反す。											
○國に入り、秋精忠を降す。○福建略定る。○尙之信反す。											
○吳代を陥る。○江西略定る。○魁春卒す。○尙之信降る。											
○吳三桂、雲安に反す。											
○臺灣入寇。○秋精忠反す。											
聖											
1682	1681	1680	1679	1678	1677	1676	1675	1674	1673	1672	
○佛英兩國和蘭を攻む。○ストックホルムの條約。○佛の東印度會社ボンナチヤリを得。											
○ポリアランド王、土耳其兵を破る。○テスト、アクトの發布。○和蘭人、ニウヨーク及び、ニウジャージーに占有す。											
○ミルトン死す。○英人、和蘭と和す。○第八月十一日、セチフの戦、コンデ、ワリアムと戦ふ。											
○瑞典人、フランケンブルヒを攻め大敗す。○フイレンの戦起る。○セントゴールの寺院建つ。○ローメル光の速度を確知す。											
○ペーコン、ヴァイニニアに於て反す。○フェードル二世、露西亞王となる。											
○哲學者スピノザ歿す。○カセルの戦、佛人オーレンシのウリアムを破る。											
○和蘭同盟國佛と和す。											
○ニメーグンの和約。○スコットランドの首相シャーノの虐殺。											
○ラ、ロソフーニー死す。											
○佛王ルイ十四世、ストラスマルクを奪ふ。○カールアロン死す。											
○イヴァン五世及び、ペートル大帝即位す。○ウァリアハン、ペンシルヴァニア殖民地を見す。											
○佛相マザリン歿す。○コンスタンティン十四世の首相となる。○日耳曼、土耳其と戦ふ第一志。											
○アクト、オフ、ユニフォーム、國會を通過す。○コンチキチカット及び、ニウヘブン、移住民チャールズ二世より特許を得。											
○土耳其人、ハンガリーを破る。○カロリナ、殖民起る。											
○英人、ニウジャージーランドを有す。○佛國東印度會社起る。○第八月一日、セント、ゴットホルドの戦。○第一次のコンヴェンチアクト、アクト議會を通過す。											
○ロンドン、大に疫す。○英國和蘭と戦ふ。○西班牙王チャールズ二世即位す。											
○ダウンスの海戦。英國和蘭と戦ふ。○第九月二日、ロンドン大火。○佛國科學學校を立つ。○佛國英國と戦ふと宣言す。											
○英國、ポリアランド、佛國、デンマークの諸國、ブレマ子ザイランドに侵入す。											
○エイクス、ラ、シヤベルの條約。蘭英、佛國、佛國と和す。○西班牙、リスボン條約に依り、葡萄牙の獨立を承認す。											
○土耳其、カンナアを征す。○法王クレメント九世、アラント、燒燬を發見す。											
○ドーヴァーの秘密條約。○クレメント十世法王となる。											
○レオポルト一世、ハンガリーの自由を抑制す。											

元										東					山						
2343	2344	2345	2346	2347	2348	2349	2350	2351	2352	1353	6	5	4	3	2	1	0	9	8	7	
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	西	申	未	申	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥
吉																					
<p>○庶人は短刀一口の外を禁す、○西洋の奇玩を買ふを禁す、○無人島を禁す、○冬に朝服を穿たり、○朝に皇太子を奉養す、○宗廟を朝鮮に建つ、○書籍の發行を禁す、○本邦にて推歩せしむるの始す、○保井算の撰、○忌服令を頒つ、○木鹿田正俊を殺す、○朝鮮人漂着す、○稻葉正休大老細田正俊を殺す、○兵學山鹿流山鹿素行、琴曲八橋流八橋檢校殺す、○福州厦門の商船始て長崎に來る、○後西院崩す、○武徳大成殿成る、○天皇崩す、○朝鮮琉球五市の歲額を定む、○林鳳閣を弘文院學士とす、○清の禁書を船載するを檢す、○改宗人名を録す、○六月殺生の刑を設く、○十一月大嘗會を行ふ、○東大寺大佛殿を造る、○大阪堂島を開く、○清の商館を長崎に造り、一年七十艘を定額とす、又遠見番所を設く、○幕府釋其す、○葡葡牙人漂着す、○北村季吟を歌學方とす、○朝鮮人參を貿易するを禁す、○清人朝鮮人漂到す、○安南復通商を乞ふ許さす、○聖堂を湯島臺に建立す、○蘭人ケンベル長崎に來り、日本紀事を著す、○清の貿易船を増す、○薩人廣東に漂着す、○近松大阪にて著作す、○昌平校開け文教起る、○丁介光起三筆の二派とす、○吉田自庵官醫となる、○林家東葉、○日蓮宗悲田派を禁す、○徳川光圀楠正成の碑を湊川に建つ、○この頃、○杉山和一名あり、又友禪流始る、又漆術大に進歩す、○清我漂民を送り還す、○蘭州人、浙江に漂着す、○安南漂民を送り還す、○大阪西本願寺立つ、○シヤム人、我漂民を送り還す、○安南漂民を送るを斷す、</p>																					
祖																					
<p>○國野等降り臺灣清に歸す、○帝塞外を巡幸す、○浮屠を禁す、○清露の條約、○武昌變あり之を平ぐ、○劉首昂卒す、○魯西亞と黒龍江國境を定む、○蒙古人降を乞ふ、○詔して朝鮮の貢を免す、○噶爾丹を征す、○大清會典成る、○大蒙古人降を乞ふ、</p>																					
聖																					
<p>○噶爾丹と會盟を約す、○大儒黃梨州卒す、○噶爾丹を伐つ、○露人黒龍江に寇す、○帝、河工を巡閱し抗州に至る、○柔爾哈濟に幸す、名將楊寶古卒す、○南河を巡視す、○王撫卒す、○湖南紅苗反す、○佩文韵府成る、</p>																					
<p>○ボイランド王、土耳其兵を逐ふ、○パスカル生る、○クワリアム、ラッセル、及びアルカラン、シドネー、死に處せらる、○第七月、土耳其人、ウナンナカ、圍む、○佛人コルベル死す、○フアラデルフィヤを開く、○佛軍、セリアを襲つ、○ライプニッツ、復分を發明す、○コレチイニ死す、○呼電器發明、○ハンガリーの王位世襲となる、○ニワトン、重方規則を公にす、○佛のバラチチート戦始る、○セームス二世、教團條令を發布す、○佛王ルイ十四世、アヴニオンを奪取す、○英國革命、○十一月五日、オリエンツのウリアム、英國國民の招きに應じ、英國に入る、○第十二月十一日、英王セームス二世、佛國に出奔す、○第二月十三日、英國國民、王位をウリアム及メリーに捧げ、並に國民權利宣言書を呈す、○アレンキサンダー一世、法王となる、○米國にウリアム王、戰を始む、○七月一日、ボイランドの戰、ウリアム三世、セームス二世を破る、○ウリアム三世の艦隊、ビッチヘッドに於て佛人に破らる、○愛蘭、アクリムの戰、アイルランド人破らる、○サラカンカメンの戰、土耳其人、ボイランドのルイに破らる、○法王インノーセント十二世、○第二月十三日、ケレンゴの艦隊、○第五月十九日、ウリアム三世の艦隊、佛國艦隊を破る、○マサチューセツ、英人の屬地となる、○佛水師提督トルワル、セントウァンセント岬に於て英艦隊を破る、</p>																					

東										山												
2354	2355	2356	2357	2358	2359	2360	2361	2362	2363	2364	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
吉																						
<p>○神道家吉川惟足、俳諧道慈航、(桃背)受す、○加茂葵祭、興、○大坂漂民の露國に移住して還らざるあり、○江都火く、○暹羅船長門の漂民を送る、○彩色印刷の始、○元字金銀を鑄る、○書家佐々木志願津慶受す、○將軍大小屋を建つ、○清の禁書を載せ來る、命して之を焚く、○漂着清船を送り還す、○朝鮮人出雲に漂着す、○殖産家宮崎安貞の農業全書成る、○醫名護屋玄(舟水)受す、○日本輿地圖を校正せしむ、○明正上皇崩す、○朝鮮人蝦夷に漂着す、○三月、諸國大に饑る、○二朱金の始、○大日本史起成る、○元祿中、蠶種商人に帶刀を免す、○柳澤保明左少將となる、○江戶水代橋を架す、○清船五島に漂着す、○九月、寛永寺中堂成る、○川村瑞軒召され、○元祿中、青磁三田焼始る、○清船禁書を載せ來る、○六月、川村瑞軒卒す、○生類賣買の禁、香取宮を營む、○十月、草葉館を修む、○十二月、徳川光圀受す、○藩輪轉成る、○契沖受す、○紙園南海、年十七、半日に百律を賦す、○三月、淺野長矩、吉良義央を城中に傷く、長矩に死を賜ひ國を除く、○十二月、煙草を種ゆるを禁す、○淺野長矩遺臣、大石良雄等四十七人、吉良義央を其邸に殺す、○關東の地大に震ふ、己にして、江戶大火、○山陵を修む、○貞雄等に死を賜ふ、○寶字銀を鑄る、○初代團十郎受す、○蘭人來聘す、○新大和川を疏す、○濱御殿を建つ、○北村季吟卒す、</p>																						
祖																						
<p>○噶爾丹自殺す、○朔漢を全く、討平す、○朔双忠祠を建つ、○露人黒龍江に寇す、○帝、河工を巡閱し抗州に至る、○柔爾哈濟に幸す、名將楊寶古卒す、○南河を巡視す、○王撫卒す、○湖南紅苗反す、○佩文韵府成る、</p>																						
聖																						
<p>○英人、佛國の海岸を攻む、○女王メリー受す、○英國銀行を建つ、○九月二十一日、リス、ライクの和約、佛國ボイランド西班牙英國と和す、○瑞典王、チャーレス十二世即位す、○九月十一日、セントアの戰、サウイのレカホルド一世の軍、土耳其軍を破る、○英人蒸氣機を造る、○ルイ十四世、西班牙國分取に關し、ウリアム三世と條約す、○カルカッタに英國の商會を設く、○ラシーン卒す、○カローウイツの和約、土耳其オアシナに殖民す、○ボイランド、ウニヌミ和す、○佛人ルイ、十一月一日、西班牙のバプスブルグ朝の最終王、チャーレス二世受す、○ドライアン卒す、○十一月三十日、ナルウアの戰、チャーレス二世、ヘイトル大帝の軍を破る、○四班牙王位繼承の亂始る、○ボイランド、英國大同盟して、ルイ十四世、チャーレス二世に抗す、○四王國となる、○セームス二世受す、○英國殖民條令を置く、○ヒリッパ五世、マドリードに入る、○チャーレス二世、マルソーに入る、○オーレンゾ公死す、○女王アンソンの戰、○佛人アラバマに殖民地を開く、○バルラー、ライン河を渡りて、マキシミアン、エマニール、の軍に合す、○ルイク、ツアラルター、を奪取す、○ヘイトル大帝、セントヘイトル、スブルグ、市を建つ、○ボイランドに新聞起る、○ハンガリーの一侯ウリアム、附近に侵入す、○八月、ホークス、の戰、マナホルド、及び、ウリアム、太子佛人を破る、○マナホルド、の死、○チャーレス二世、オーガス、ス二世を破り、ボイランドの王位を奪ふ、</p>																						

光										
2463	2462	2461	2460	2459	2458	2457	2456	2455	2454	2453
3	2	和享	12	11	10	9	8	7	6	5
亥癸	戌壬	酉辛	申庚	未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸
齊										
○關學者前野良澤、心學者中澤道二歿す。○清商人頭録を載せ来る。										
○九月吏を派し伊豆諸島を巡視せしむ。○箱館奉行を置く。										
○伊能忠敬が経緯度を加へし日本圖を作り、十八年にて成る。○孝養殿成る。○清船漂着。○麗を豊前に置き清蘭密商を巡視せしむ。										
○聖堂を修む。○馬加撒人漂着す。○清の漂流民を送還す。○加藤民吉瀬戸橋を始む。○本居宣長、多紀元徳歿す。○出羽の民蜂起す。○清人始て我刊書伏在書齋を輸出す。										
○清蘭の薬苗を蝦夷地に植ゆ。○聖堂改造。○清の王氏の船西洋貨物を輸入するを許す。○北防を廢にし露國に備ふ。○堀田仁助北海道の舟運を始む。										
○庶人帶刀一尺五寸以上を禁す。○蘭使來朝途に死す。○關を天草に設け清の密商を檢す。○露船蝦夷に來る吏に命じて之を巡視せしむ。										
○集古十種成る。○米船肥前に漂着す。○葡師板谷廣當歿す。○松前漁夫清より歸る。○英船蝦夷に來る新曆寛政成る。										
○ハルマ和解成る。辭書對譯の始。○琉球入貢す。○清船漂着す。○命じて南海群島を巡視せしむ。										
○葡師應舉歿す。○寛政中、二宮桃亭沈金織に名あり、又和泉の岩村善兵衛始て天文鏡を作る。○家齊小金原に獵す。○松前漁夫滿州に漂着す。○我民安南より歸る。										
○宇田川玄圃致仕。○五月、我民露國東部に十一月安南に漂着す。○寛政以後安南呂宋地方の來舶貿易全く絶ゆ。										
○救使中山愛親、正親町公明東下す。○露使節、我漂流民を送り來り互市を請ふ。露來聘の始。○六月、蘭人來聘す。○松平定信に命じ互和泊泊を巡視せしむ。○高山正之歿す。										
宗										
仁										
高										
8	7	6	5	4	3	2	慶嘉	60	59	58
○馬賊大白山に猖獗す。○海賊沿海に寇す。○浙江越者李長庚大に之を破る。	○王夢樵死す。○教匪の亂始めて平く。	○貴州苗叛す。○逆賊王廷沼捕はる。	○賊將冉天元を破る。○是より先き劉之協等叛教を唱ふ。	○福寧の賊勢猖獗。	○襄城又、漢中を渡る。○川北賊平く。	○七煙孟子刻成る。○太湖南苗賊略定す。○太上皇崩す。	○海賊の跋扈。○白蓮教匪の亂。○千叟宴を舉行す。	○貴州苗石印鄧反す。○英吉利來聘。	○廓爾喀を征す。	○四月六日、泰寧地震ふ。蘭字民屋多く倒る。京中疫あり。
1803	1802	1801	1800	1799	1798	1797	1796	1795	1794	1793
○佛人全くボイランドを有す。○四月一日、巴里再び一揆起る。○四月五日、セルの和約締結す。○佛國ナレクトリ政治。○英將喜望峯を取。○第三次ボイランドの分割。○パタゴニア共和国立つ。○佛將ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。	○佛國ナボレオン、伊太利を破る。○ナボレオン、マンチアを圍み之を陥る。○ナボレオン、海軍を破る。○石版術發明。○露帝ホル一世、露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。○露國公チヤーン、佛兵をアムステルダムに及ぼす。

光											
2474	2473	2472	2471	2470	2469	2468	2467	2466	2465	2464	
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	化文	
戌甲	酉癸	申壬	未辛	午庚	巳己	辰戊	卯丁	寅丙	丑乙	子甲	
齊											
○漂客左平等始て地球を一周す。○露使レサラット興に來る。○中井竹山歿。○戸口を換す。○我民東洋に漂着す。○清人諸金貨を載せ来る。○露使長崎に來り互市を乞ふ。											
○露使に諭し通商を許さす。○始て朝鮮使を對馬に受け例さす。○清の漂流民を送り歸す。											
○露艦蝦夷に寇す。○米船長崎に來り互市を乞ふ。○琉球入貢。○江戸大火焼亡二十八万余戸。死亡二千二百餘人。○土佐光貞歿。○續藩論成る。											
○淇園歿。○露人又來寇會仙の兵を殺し之に備ふ。○松前奉行を乞ふ。○清我漂流民を送り還す。○幕府北邊を巡視せしむ。											
○英船長崎を掠む。○松平康秀自歿す。○保己一歿。○砲臺を江戸海に設く。○岸山烽火臺を復す。○英船馬に漂着す。○砲臺を互和に設く。○露官かして露英兩國を學ばしむ。											
○長崎砲臺を修築す。○御工川部正秀歿。○新に砲臺を津輕海岸に烽火臺を設く。○清船日本書紀論語等を載せ歸る。○清船漂着。											
○水滸上奏大日本史を獻す。○小野蘭山本草家歿。○宮津竹岡崎及び浦走水城島の砲臺を修む。○英船常州に來る。○吉田屋入右衛門九谷焼の中興。○合津白河をして北地の警備を嚴にせしむ。											
○大槻茂實に蘭書を譯せしむ。洋學官の始。○村田春海歿。○露船理非尻に來る。○朝鮮使者來る。											
○定信致仕す。○露船高田屋兵衛を捕へ去る。○我民露國より歸る。○山本北山歿す。											
○譯官馬場某露國に露語を學ぶ。○露船肥前に來り我民と露囚を交換す。○後醍醐天皇崩す。○七十四。○清人七經孟子考文補遺等を載せ来る。○寛政重脩諸家譜成る。											
○諸家譜を撰ぶ。○露船蝦夷に來り境を定むるを請ふ。○美濃磁器京の永樂燒文化中に始る。○加茂陸奥祭を復す。○二月和蘭人來聘す。○北地の兵兵を撤す。											
宗											
仁											
高											
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	
○賊悉く平く。	○天理教匪起る。○箱賊起る。		○大學士、嚴衛享卒す。○西巡す。		○閩浙二洋の海賊平撃す。○安南英吉列船を擧ぐ。	○李長庚海賊と戦て卒す。	○貴列苗平く。○李長庚大に海賊を破る。	○太子太傅王杰卒す。○牛痘亞片を傳ふ。	○秦亂楚の亂平く。		
1814	1813	1812	1811	1810	1809	1808	1807	1806	1805	1804	
○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。	○三月十一日、露國強國聯合共四國輸入す。○五月三十日、露國の和約第一次締結。○露國の和約第二次締結。○露國の和約第三次締結。○露國の和約第四次締結。○露國の和約第五次締結。○露國の和約第六次締結。○露國の和約第七次締結。○露國の和約第八次締結。○露國の和約第九次締結。○露國の和約第十次締結。

上		今		孝		明				
2529	2528	2527	2526	2525	2524	2523	2522	2521	2520	2519
2日	治明	3日	2日	應慶	治元	3日	2日	久文	延萬	6日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
<p>○德川齊昭を幽す○横濱を開く○五國條約を頓つ○ 露艦生米を西洋に輸出す○正義黨謀斬せらる○虎列 刺病流行</p> <p>○櫻田の變○始めて西洋に國使を發す○軍艦奉行木村 播磨等米國より歸朝○英人始て富士山に上る○儒者 安積長壽發す○金幣を鋳る○齊昭薨す</p> <p>○長崎に精符館立つ○派士英館を襲ふ○これより英人 兵を横濱に置き自衛す○皇妹和宮降嫁○歐洲六國に 遣使</p> <p>○背遊院宮以下の幽屏を解き井伊の謀討せらる○齊 疹病流行○建士安藤信正を坂下門に要撃す○毛利齊 親書を幕府に呈し天下の形勢を論ず○蘭國に留學生 を遣す○生夢の變○幕府軍艦を遣る</p> <p>○三月家茂入朝○領港を告ぐ○文久鎮を繕る○五月 長入米艦を赤間關に砲撃す○七月英艦鹿島に寇す○ 主部守備隊を置く○加波石清水に幸す○山陵を修む○ 英國に留學生を遣す○高山定之助の木像を築す○ 七卿長州に奔る○大和の變○英人新聞紙を横濱に發刊す</p> <p>○長州斬らる○北野祭再興○將軍上洛○水戸藩論兩 分二黨相争ふ○長州を征す○八月英佛米蘭四國の 兵赤間關に達す</p> <p>○英米佛蘭兵艦を帥て兵庫に來り條約す○將軍親 征大坂に至る○露英佛に留學生を送る○祇園燈明祭 再び起る</p> <p>○再び長州を伐て克たす○長軍は相持經天專ら統隊を 用ひ將軍は甲冑刀槍を用ふ○幕府使を露艦に遣り樺 太境界を定め○家茂昭徳公薨す○十二月慶喜を以 て將軍となす</p> <p>○孝明天皇崩す○兵庫を開港場とす○巴里博覽會に 出品す○攝關以下の舊職を廢し三職を置く○十月慶 喜政權を還し王政復古す○紙幣を發行す</p>										
<p>○伏見の日の變○一死に元元○慶喜水戸に退く○八月幕府は開く○ 將軍大島圭介が城を定る○關西に四國軍を遣す○東山にのぼる○北條 江戶を東宮が城を定る○東宮が城を定る○東宮が城を定る○東宮が城を定る○ 十二月女御が城を定る○十二月女御が城を定る○十二月女御が城を定る○ 十二月女御が城を定る○十二月女御が城を定る○十二月女御が城を定る○</p>										
<p>○英佛と戦ひ之を敗 る○英佛使臣辱めら る○阿片禁止</p> <p>○英佛北京を陥る○ 天津條約</p> <p>○英佛と和す○佛人 安南長髮賊を伐ち上海 を府する</p> <p>○海上賊を襲ふ○金 陵の大戦○英佛米の 兵官軍を援く</p> <p>○李鴻章劉銘傳等奮戦 す○官軍鄭城を陥る 賊軍を破る</p> <p>○洪秀全を服し死 す○金陵平定○賊平 く○漢中城を復す</p> <p>○賊山東に入る○福 王僧格林沁死す○福 王僧格林沁死す○福</p> <p>○蕪湖北に奔る○會 國藩捻匪を破る○會 國藩捻匪を破る○會</p> <p>○劉銘傳日隆河に敗 す○賊人佛人を虜に する○賊人佛人を虜に</p> <p>○蕪湖捻賊を破る○劉 銘傳各所に置く○會 國藩捻匪を破る○會</p> <p>○好む日本に通す○左 宗棠甘肅の賊を平く○ 宗棠甘肅の賊を平く○ 宗棠甘肅の賊を平く○</p>										
<p>○二月七日、北日本を併吞す○第一次博覽會に参事す○三月 二月七日、北日本を併吞す○第一次博覽會に参事す○三月 二月七日、北日本を併吞す○第一次博覽會に参事す○三月 二月七日、北日本を併吞す○第一次博覽會に参事す○三月</p>										

上		今		孝		明				
2540	2539	2538	2537	2536	2535	2534	2533	2532	2531	2530
13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日
辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬	未辛	午庚
<p>○甲信へ巡幸○正金銀行を横濱に建つ○地方官會議規則 の發布○國會開設の請願○京都に幸す○刑法治罪法頭</p> <p>○勸諭の詔を下す○主上上野へ幸せらる○米國條約改 正を承認す○五月、琉球を廢し沖縄縣を置く○英國リ トビヘンチン島に領事館を設け○米國グラント氏伊國セノブ公 等來遊す○梟刑を廢す</p> <p>○北陸近邊巡幸○大久保利通賊の爲に殺さる○始めて士族 の功臣を尊族に列す○薬油容積發す○郡區町村編制法を 訂す</p> <p>○成租の勅○學務院成る○内閣勸業博覽會を開く○水戸 公亮す○勸草の始○京都大和へ行幸す○四郡區盛反す討 て之を平く</p> <p>○奥羽巡幸○士民の佩刀を禁す○神風連の變○朝鮮と締 約○熊本秋月城に賊起る</p> <p>○八年出版條例出づ○元老院及び大審院を置く○地方官 會議○始て洋紙を製す○英佛二國横濱の衛兵を撤す○ 樺太境界定る○朝鮮江華島事件○郵船會社始て上海に渡 航○樺太を各國に與へ千島と交換す</p> <p>○皇城火く○始て證券印紙を發行す○天皇敕發す○琉 球藩東京に駐在す○外人と證據を許す○琉球王入朝 ○學制改正小學起る○公園の始○全國地租を改正す○六 續臺を置く</p> <p>○臺灣征伐金五十萬圓を取り終局○佐賀江藤新平の亂 ○賊岩倉右大臣を傷く</p>										
<p>○日本と條約成る○ 香港上海間海底電線成 る</p> <p>○日本に領事官を置 く○日本領事來る○ 會國藩卒す○文正と謀 す</p> <p>○鐵道電信を敷く</p> <p>○日本北京公使來る○日本 と臺灣の條約成る○ 上海開港○十二月、 慶喜を討つ</p> <p>○秘魯國と條約を結 ぶ○郵政成功を忠告 烈と進諫す</p> <p>○英國と條約を結ぶ ○上海江海の鐵路成 る</p> <p>○欽差大臣何如○ 日本に來る○ 日本に來る○ 日本に來る○</p> <p>○初度の伊犁談判○ 陝西四川大に飢○ 成西賊起る</p> <p>○甘肅大劫掠○ 俄將手擧げ 俄將手擧げ○ 俄將手擧げ○ 俄將手擧げ○</p>										
<p>○二月十七日、露國ウラヤノ宮殿内の變○ 第二十七日、露國ウラヤノ宮殿内の變○ 第二十七日、露國ウラヤノ宮殿内の變○ 第二十七日、露國ウラヤノ宮殿内の變○</p>										

稱德	四十八代	一四二五	光仁	四十九代	一四三〇	桓武	五十代	一四四二	平城	五十一代	一四六六	嵯峨	五十二代	一四七〇	淳和	五十三代	一四八四
仁明	五十四代	一四九四	文德	五十五代	一五一八	清和	五十六代	一五二九	陽成	五十七代	一五三七	光孝	五十八代	一五四七	宇多	五十九代	一五五八
醍醐	六十代	一五五八	朱雀	六十一代	一五九一	村上	六十二代	一六〇七	冷泉	六十三代	一六二九	圓融	六十四代	一六四〇	花山	六十五代	一六四五
一條	六十六代	一六四七	三條	六十七代	一六七二	後一條	六十八代	一六七七	後朱雀	六十九代	一七〇五	後冷泉	七十代	一七〇六	後三條	七十一代	一七三二
白河	七十二代	一七三三	堀河	七十三代	一七四七	鳥羽	七十四代	一七六八	崇德	七十五代	一七八四	近衛	七十六代	一八〇二	後白河	七十七代	一八二六
二條	七十八代	一八二五	六條	七十九代	一八二六	高倉	八十代	一八四〇	安徳	八十一代	一八四三	後鳥羽	八十二代	一八四四	土御門	八十三代	一八五九
順徳	八十四代	一八七一	仲恭	八十五代	一八八一	後堀河	八十六代	一八八二	四條	八十七代	一八九三	後嵯峨	八十八代	一九〇三	後深草	八十九代	一九〇七
龜山	九十代	一九三〇	後宇多	九十一代	一九三五	伏見	九十二代	一九四八	後伏見	九十三代	一九五九	後二條	九十四代	一九六二	花園	九十五代	一九七八
後醍醐	九十六代	一九九八	光嚴	九十七代	一九九三	後村上	九十八代	一九九九	後龜山	九十九代	二〇〇三	後小松	百代	二〇〇七	稱光	百一代	二〇〇七
後花園	百代	二〇八九	後土御門	百二代	二〇二五	後柏原	百三代	二〇六一	後奈良	百四代	二〇七七	正親町	百五代	二〇八八	後陽成	百六代	二〇七四
後水尾	百七代	二二七二	明正	百八代	二二九〇	後光明	百九代	二三〇四	後西院	百十代	二三二五	靈元	百十一代	二三三三	東山	百十二代	二三四七

北朝

仁孝	百十九代	二四七二	孝明	百二十代	二五〇七	今上天皇	百二十一代	二五二七	中御門	百十三代	二二七〇	櫻町	百十四代	二二九六	桃園	百十五代	二四〇八	後櫻町	百十六代	二四三三	後桃園	百十七代	二四三九	光格	百十八代	二四四〇
----	------	------	----	------	------	------	-------	------	-----	------	------	----	------	------	----	------	------	-----	------	------	-----	------	------	----	------	------

本朝將軍表

源賴朝	八五二	源賴家	八六三	源實朝	八七四	藤原賴經	八八六	藤原賴嗣	八九三	守邦親王	八九九	護良親王	九〇三	成長親王	九〇五	足利尊氏	九〇六	足利尊氏	九〇七	足利義隆	九〇八	足利義満	九〇九	足利義満	九一〇	足利義満	九一一	足利義満	九一二	足利義満	九一三	足利義満	九一四	足利義満	九一五	足利義満	九一六	足利義満	九一七	足利義満	九一八	足利義満	九一九	足利義満	九二〇	足利義満	九二一	足利義満	九二二	足利義満	九二三	足利義満	九二四	足利義満	九二五	足利義満	九二六	足利義満	九二七	足利義満	九二八	足利義満	九二九	足利義満	九三〇	足利義満	九三一	足利義満	九三二	足利義満	九三三	足利義満	九三四	足利義満	九三五	足利義満	九三六	足利義満	九三七	足利義満	九三八	足利義満	九三九	足利義満	九四〇	足利義満	九四一	足利義満	九四二	足利義満	九四三	足利義満	九四四	足利義満	九四五	足利義満	九四六	足利義満	九四七	足利義満	九四八	足利義満	九四九	足利義満	九五〇	足利義満	九五二	足利義満	九五三	足利義満	九五四	足利義満	九五五	足利義満	九五六	足利義満	九五七	足利義満	九五八	足利義満	九五九	足利義満	九六〇	足利義満	九六一	足利義満	九六二	足利義満	九六三	足利義満	九六四	足利義満	九六五	足利義満	九六六	足利義満	九六七	足利義満	九六八	足利義満	九六九	足利義満	九七〇	足利義満	九七一	足利義満	九七二	足利義満	九七三	足利義満	九七四	足利義満	九七五	足利義満	九七六	足利義満	九七七	足利義満	九七八	足利義満	九七九	足利義満	九八〇	足利義満	九八一	足利義満	九八二	足利義満	九八三	足利義満	九八四	足利義満	九八五	足利義満	九八六	足利義満	九八七	足利義満	九八八	足利義満	九八九	足利義満	九九〇	足利義満	九九一	足利義満	九九二	足利義満	九九三	足利義満	九九四	足利義満	九九五	足利義満	九九六	足利義満	九九七	足利義満	九九八	足利義満	九九九	足利義満	一〇〇〇
-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	------

(豐臣秀賴)三三九	德川家康三三六	德川秀忠三三五	德川家光三三八	德川家綱三三〇
德川綱吉三三六	德川家宣三三九	德川家繼三三七	德川吉宗三四〇	德川家重三四〇
德川家治三四三	德川家齊三四九	德川家慶三四九	德川家定三五二	德川家茂三五五
德川慶喜三五二				

支那歷代君主表

周 惠王 <small>至紀元前七七</small> 襄王 <small>四〇</small> 頃王 <small>四〇</small> 匡王 <small>四〇</small> 定王 <small>五五</small> 簡王 <small>七八</small>	靈王 <small>一九〇</small> 景王 <small>一四〇</small> 悼王 <small>一四二</small> 敬王 <small>一四二</small> 元王 <small>一九六</small> 貞定王 <small>二九三</small>	哀王 <small>三三一</small> 考王 <small>三三五</small> 威烈 <small>三五六</small> 安王 <small>二八五</small> 烈王 <small>二八六</small> 顯王 <small>三九二</small>	慎觀王 <small>三四一</small> 赧王 <small>四〇五</small> (東周) 惠公 <small>四〇二</small> (秦) 始皇帝 <small>四四〇</small> 二世皇帝 <small>四五四</small>	漢 (前漢) 高帝 <small>四五六</small> 惠帝 <small>四六七</small> 文帝 <small>四八二</small> 景帝 <small>五〇五</small> 武帝 <small>五七四</small>	昭帝 <small>五七五</small> 宣帝 <small>六八二</small> 元帝 <small>六八三</small> 成帝 <small>六五九</small> 哀帝 <small>六六五</small> 平帝 <small>六六五</small>	假皇帝(孺子嬰) <small>六六六</small> (王莽 <small>六六六</small>) (後漢) 光武皇帝 <small>七六五</small> 明帝 <small>七七八</small> 章帝 <small>七四八</small>	和帝 <small>七四九</small> 殤帝 <small>七六六</small> 安帝 <small>七六七</small> 順帝 <small>七八六</small> 冲帝 <small>八〇五</small> 質帝 <small>八〇六</small>	桓帝 <small>八二七</small> 靈帝 <small>八四九</small> 獻帝 <small>八五〇</small> (蜀) 昭烈帝 <small>八八二</small> 後帝 <small>九三三</small>
--	--	---	--	---	---	---	---	--

魏 文帝 <small>八八六</small> 明帝 <small>八八七</small> 齊王 <small>九〇〇</small> 廢帝 <small>九一五</small> 元帝 <small>九二〇</small>	吳 太帝 <small>九八二</small> 廢帝會稽王 <small>九二二</small> 景帝 <small>九三三</small> 烏程侯 <small>九三三</small>	西晉 武帝 <small>九二五</small> 惠帝 <small>九五六</small> 懷帝 <small>九六七</small> 愍帝 <small>九七三</small> (東晉) 元帝 <small>九八二</small>	明帝 <small>九八四</small> 成帝 <small>九八六</small> 康帝 <small>一〇〇三</small> 穆帝 <small>一〇〇五</small> 哀帝 <small>一〇二二</small> 帝 <small>一〇三六</small>	簡文帝 <small>一〇三二</small> 孝武帝 <small>一〇三三</small> 安帝 <small>一〇七九</small> 恭帝 <small>一〇七九</small> (宋) 武帝 <small>一〇八三</small> 廢帝	(義符) <small>一〇八三</small> 文帝 <small>一〇八四</small> 孝武帝 <small>一一二四</small> 廢帝(子業) <small>一一二五</small> 明帝 <small>一一三五</small> 後廢帝 <small>一一三六</small>	順帝 <small>一一三七</small>	北魏 道武帝 <small>一〇〇六</small> 明元帝 <small>一〇六九</small> 太武帝 <small>一一八四</small> 文成帝 <small>一一二二</small> 獻文帝 <small>一一三六</small> 孝文帝 <small>一一六〇</small>	宣武 <small>一一七五</small> 孝明帝 <small>一二九六</small> 孝莊帝 <small>一二八八</small> (東魏) 孝靜帝 <small>二〇九四</small> (西魏) 孝武帝 <small>二一九二</small>	文帝 <small>二一九五</small> 廢帝 <small>二二三三</small> 恭帝 <small>二二三五</small>	齊 高帝 <small>二四九</small> 武帝 <small>二五三</small> 廢帝(辭林) <small>二五三</small> 廢帝(海陵) <small>二五三</small> 明帝 <small>二五四</small> 廢帝	(東昏) <small>二五九</small> 和帝 <small>二六一</small> (梁) 武帝 <small>二〇九</small> 簡文帝 <small>二二〇</small> 元帝 <small>二三四</small> 敬帝 <small>二三五</small>	北齊 文宣帝 <small>二二九〇</small> 廢帝 <small>二二九二</small> 孝昭帝 <small>二二九九</small> 武成帝 <small>二三四一</small> 後主 <small>二三五七</small>	後周 孝愍帝 <small>二二七七</small> 明帝 <small>二二三八</small> 武帝 <small>二二七三</small> 宣帝 <small>二二三八</small> 靜帝 <small>二二四九</small>
--	--	--	--	---	---	------------------------	---	--	--	---	--	---	---

陳武帝 三三九	文帝 三四九	中宗 三四九	順宗 三四六	宣宗 三五〇	末帝 五七四	聖宗 六四三	後唐莊宗 五八三	出帝 六〇三	恭帝 六三〇	神宗 七四八	光宗 八五〇	帝昺 九三九	金 <small>(初め女真又は女直と號す)</small> 太祖 一七五
廢帝 三三〇	煬帝 三六五	睿宗 三三七	憲宗 四六五	懿宗 五〇七	太祖 五七六	興宗 六九〇	明宗 五八三	後漢高祖 六〇七	宋太祖 六二五	哲宗 七四八	寧宗 八五〇	太宗 九三九	太祖 一七五
臨海王 三三三	恭帝 三七七	文宗 四三三	穆宗 四四一	僖宗 五三〇	太宗 五八七	道宗 七一九	宗 五八六	隱帝 六〇九	太宗 六二六	徽宗 七六一	理宗 八八五	宗 九三九	太宗 一七五
宣帝 三三九	唐高祖 三三三	肅宗 四三六	敬宗 四八五	昭宗 五四九	世宗 六〇七	天祚帝 七六一	閔帝 五九四	廢帝 五九四	真宗 六二九	欽宗 七六六	度宗 九二五	宗 九三九	太宗 一七五
後主 叔寶 三四三	太宗 三三〇	代宗 四三三	文宗 四八七	宣宗 五五五	穆宗 六二八	後梁太祖 五五五	廢帝 從珂 一五九	後周太祖 一六三	仁宗 七三三	高宗 七三三	恭宗 九三三	亮宗 八〇九	太宗 一七五
高宗 三三〇	太宗 三三〇	德宗 四四〇	武宗 五〇六	太祖 五七三	景宗 六二九	後晉高祖 六〇二	高祖 五九四	世宗 六二九	英宗 七二四	孝宗 八二三	端宗 九三三	世宗 八二一	太宗 一七五

章宗 一八七	元太祖 一八六	武宗 一九七	寧宗 一九九	宣宗 二〇〇	武宗 二〇六	思宗 二〇八	世祖 二一〇	文宗 二五二
宣宗 一八七	太宗 一八八	仁宗 一九八	順宗 一九九	英宗 二〇九	世宗 二一六	福王 二〇五	聖宗 二二二	穆宗 二五二
哀宗 一八八	定宗 一九〇	英宗 一九九	明太祖 二〇〇	景宗 二一〇	穆宗 二二七	唐王 二〇六	世宗 二二五	今帝
成宗 一九五	憲宗 一九九	帝也孫鐵木兒 一九九	惠帝 二〇五	英宗 二二四	神宗 二二七	永明王 二〇七	高宗 二四五	
成宗 一九五	世祖 一九九	明宗 一九八	成祖 二〇六	憲宗 二二四	光宗 二二八	清太祖 二二八	仁宗 二四八	
成宗 一九五	世祖 一九九	文宗 一九八	仁宗 二〇八	孝宗 二二四	熹宗 二二八	太宗 二二八	宣宗 二四八	

歐洲同時代帝王表

(自千四百五十三年至千五百十七年)

年	國	英吉蘭	日耳曼	佛蘭西	西班牙	波蘭	露西亞	土耳其	法王
1458		ヘンリー六世	フレデリック三世	チャールズ七世		カシミール四世	バシリウス三世 イヴァン二世	マホムト二世	ニコラヌ二世 カリクヌヌス三世 バイアヌ二世 ボール二世 シキヌヌス四世
1460		エドワード四世		ルイ十一世					イソラヌ二世 イソラヌ八世
1470									
1480		エドワード五世 リチャード三世 ヘンリー七世		チャールズ八世				マサセルト二世	
1490			マキシミリアン一世						アレキサンダー六世
1500				ルイ十二世					
1510		ヘンリー八世		フランシス一世				セリム一世	バイアヌ三世 ピョートル二世
1517									レオ十世

(自千五百十七年至千五百六十年)

年	國	英吉蘭	日耳曼	西班牙及 ポルトガル	佛蘭西	波蘭	露西亞	瑞典	土耳其	法王
1517		ヘンリー八世	マキシミリアン一世 チャールズ五世	チャールズ一世 (皇帝)	フランシス一世	シギスムント一世	バシリウス四世	グスタフワグサ	セリム一世 ソリマン一世	レオ十世
1520										アドリアヌス六世 クレメント六世
1530							イヴァン四世			ピル三世
1540		エドワード六世			ヘンリー二世 フランシス二世	シギスムント二世				ジュリアヌ三世
1550		マリヤ エリザベス	フェルディナント 一世	フィリップ二世						マルセルス二世 ピエール四世 バイアヌ四世
1560					チャールズ九世		エリク十四世			

(自千五百六十年至千六百年)

年	英吉利	佛蘭西	日耳曼	西班牙	波蘭	露西亞	瑞典	土耳其	法王
1560	エリザベス	チャールズ九世	フェルディナント一世	フィリポ二世	シギスムント二世	イヴァン四世	エリク十四世 ヨハン三世	クリストフ一世 セリム二世	メイスン四世 メイスン五世
1570		ヘンリー三世	ルドルフ二世		ヘンリー三世 (佛リ) ステファヌ			メスルム三世	クレマン十一世 十三世
1580					シギスムント三世	ステファン一世			シギスムント一世
1590		ヘンリー四世					シギスムント	メスルム二世	メイスン七世 クレマン十四世 メイスン九世
1600				フィリポ三世		空位			クレマン八世

(自千六百年至千六百四十八年)

年	英國	佛蘭西	日耳曼	西班牙	波蘭	露西亞	瑞典	土耳其	法王
1600	エリザベス ジェームズ一世	ヘンリー四世	フェルディナント二世	フィリポ三世	シギスムント三世	王位継承	シギスムント チャールズ九世	メスルム三世 アケメト二世	クレマン八世 レオ九世 ポール五世
1610				フィリポ四世		ミケルロ ノボ	ガスタフス アドルフ	メスルム一世 メスルム二世	
1620	チャールズ一世							メスルム三世 メスルム四世	クレマン十一世 ポール七世
1630		ルイ十三世	フェルディナント三世		ラクスラス七世		クリスチナ	イブラヒム	
1640		ルイ十四世				アレキサン			イブノセント 十世
1643					オットー、カシミル				

(自千六百四十八年至千七百十五年)

年	國	日耳曼	西班牙	佛蘭西	英國	波蘭	普魯西	露西亞	サーゲニア	瑞典	土耳其	法王
1648		フェルディナント三世 レオポルド一世	フィリップ四世	ルイ十四世	チャールズ一世 (民衆)	シヨソ、カシ ミル	アレキサン	アレキサン		クリスチナ チャールズ 第十世	マホメット 四世	イソノニセソト 十世
1680			チャールズ二世		チャールズ二世	ミケール				チャールズ 第十二世		アレキサンダー 七世
1670						シヨソ、ソビ ーニキ		フェルディナ ント二世				クレメソト九世
1680					レムス二世 クリリアム 三世			ヘートル大王				クレメソト十世 イソノニセソト 十一世
1690												クレメソト十一世 イソノニセソト 十二世
1700		ジョージ一世	フィリップ五世		ジョージ一世	スタニスラ ウス	アレクサン ダス二世			クリスチナ 第十二世	マホメット 二世 ムスタハ二世	イソノニセソト 十二世
1710		チャールズ 六世					アレクサン ダス一世				マホメット 三世	クレメソト 十一世
1715										カール ヨウグ		

(自千八百十五年至千七百八十九年)

年	國	佛蘭西	西班牙	日耳曼	英國	波蘭	瑞典	普魯西	露西亞	土耳其	法王
1715		ルイ十五世	フィリップ五世	チャールズ 六世	ジョージ一世	アサガヌス	チャールズ 十二世	アレクサン ダス一世	ヘートル(大王) 一世	マホメット 三世	クレメソト 十一世
1720						フレデリク アサガヌス	カール カ		カザン カトリック 二世	マホメット 五世	イソノニセソト 十三世
1730			ルイ一世 フィリップ 五世(母)								マホメット 十三世
1740			フェルディナ ント六世	チャールズ 七世		空位 スタニスラ ウス	フレデリク ア		イバソ六世 ユリサベス		マホメット 十四世
1750				フランソワ 一世		第一分割	ア ボルニス		ヘートル三世 カザン二世		クレメソト 十三世
1760			チャールズ 三世	ジョージ二世	ジョージ三世					マホメット 三世	クレメソト 十四世
1770		ルイ十六世					ガヌダ ヴァス 三世				マホメット 六世
1780											
1789			チャールズ 四世					アレクサン ダス二世			

(自千七百八十九年至千八百八十七年)

年	英國	佛蘭西	普魯西亞	露西亞	土耳其	奧地利	西班牙	葡萄牙
1789	ジョージ三世	ルイ十六世	フリードリヒ・ウィリアム二世	カザリソ二世	セリム三世	ジョージ二世	チャールズ四世	ジョージ一世
1790		(第一共和政)	フレデリック・ウィリアム三世	ホルー一世		レオポルド二世		(攝政)
1800		ナポレオン(第一共和政)		アレキサンダー一世	メスタハ四世	フランシス一世		
1810		ルイ十八世		ニコラス一世			フェルディナンド七世(復位)	ジョージ六世
1820	ジョージ四世	チャールズ十世						ペドロ四世
1830	ウィリアム四世	ルイ・フィリップ(第二共和政)	フレデリック・ウィリアム四世			フランシス・ジョージ	イサベラ二世	ジョージ二世(復位)
1840								
1850		ナポレオン三世(皇帝)		アレキサンダー二世				ペドロ五世
1860								
1870		(第三共和政)	ウィリアム一世(日耳曼帝)					
1880		アレキサンダー三世		アレキサンダー三世				
1887	ヴィクトリア	クレマン	ウィリアム二世			フランシス・ジョージ	アルフォンソ十三世(攝政)	ルイ一世

(自千七百八十九年至千八百八十七年) 附米國大統領表

年	英國		佛蘭西		普魯西亞		露西亞		土耳其		奧地利		西班牙		葡萄牙	
	年	大統領	年	大統領	年	大統領	年	大統領	年	大統領	年	大統領	年	大統領	年	大統領
1789		ジョージ三世		ルイ十六世		フリードリヒ・ウィリアム二世		カザリソ二世		セリム三世		ジョージ二世		チャールズ四世		ジョージ一世
1790				(第一共和政)		フレデリック・ウィリアム三世		ホルー一世				レオポルド二世				(攝政)
1800				ナポレオン(第一共和政)				アレキサンダー一世		メスタハ四世		フランシス一世				
1810				ルイ十八世				ニコラス一世						フェルディナンド七世(復位)		ジョージ六世
1820		ジョージ四世		チャールズ十世		フレデリック・ウィリアム四世										ペドロ四世
1830		ウィリアム四世		ルイ・フィリップ(第二共和政)		フレデリック・ウィリアム四世					フランシス・ジョージ			イサベラ二世		ジョージ二世(復位)
1840																
1850				ナポレオン三世(皇帝)				アレキサンダー二世								ペドロ五世
1860																
1870				(第三共和政)		ウィリアム一世(日耳曼帝)										
1880				アレキサンダー三世				アレキサンダー三世								
1887		ヴィクトリア		クレマン		ウィリアム二世					フランシス・ジョージ			アルフォンソ十三世(攝政)		ルイ一世

附錄終

明治三十年十二月六日印刷
 明治三十年十二月九日發行
 明治三十年十二月十五日再版發行
 明治三十一年一月十三日三版發行

定價金五十錢

編者 棚橋 一郎

東京市本郷區丸山新町十七番地

編者 小川 銀次郎

東京市小石川區原町六番地

編者 龜井 忠一

東京市神田區裏神保町一番地

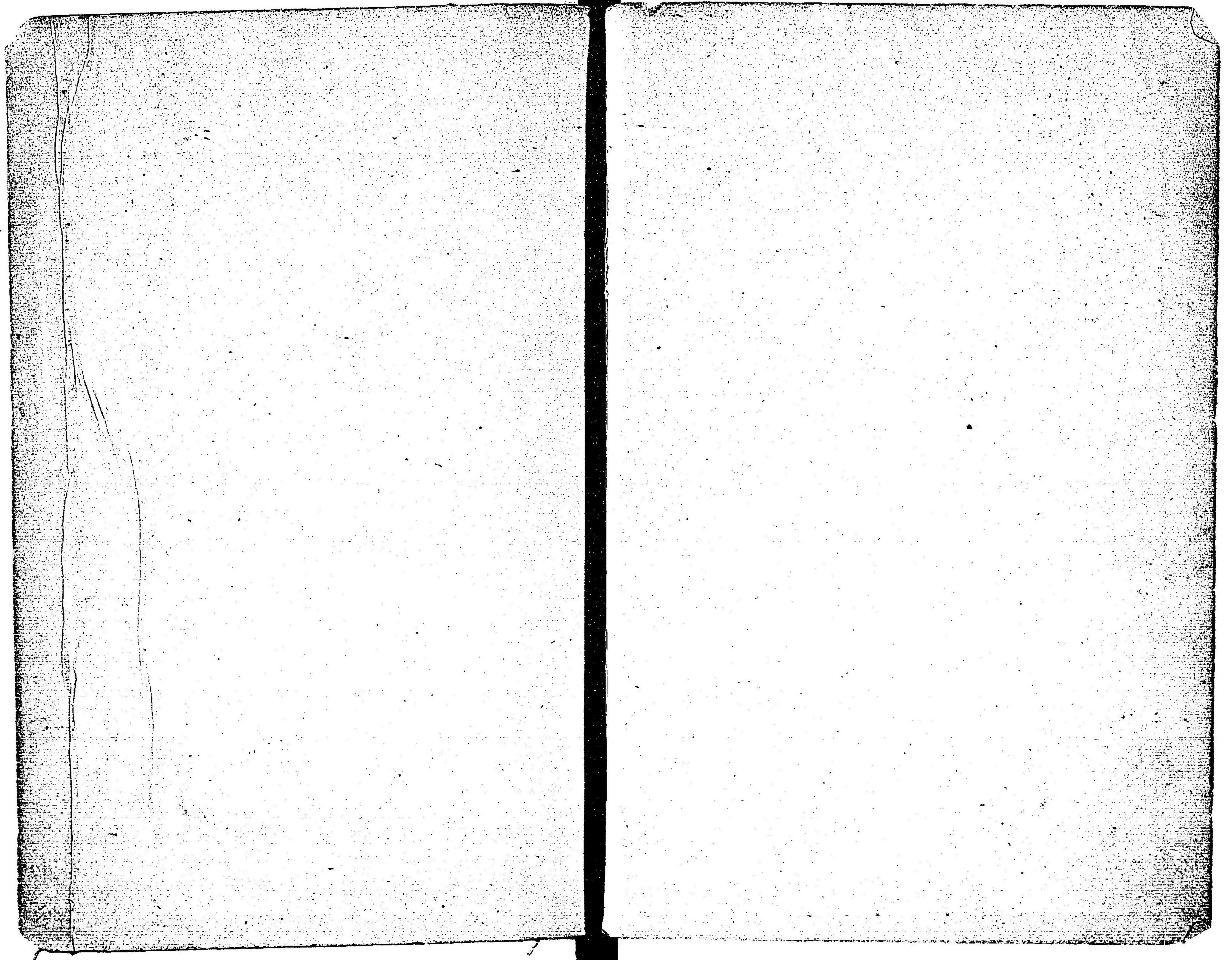
發行所 三省堂書店

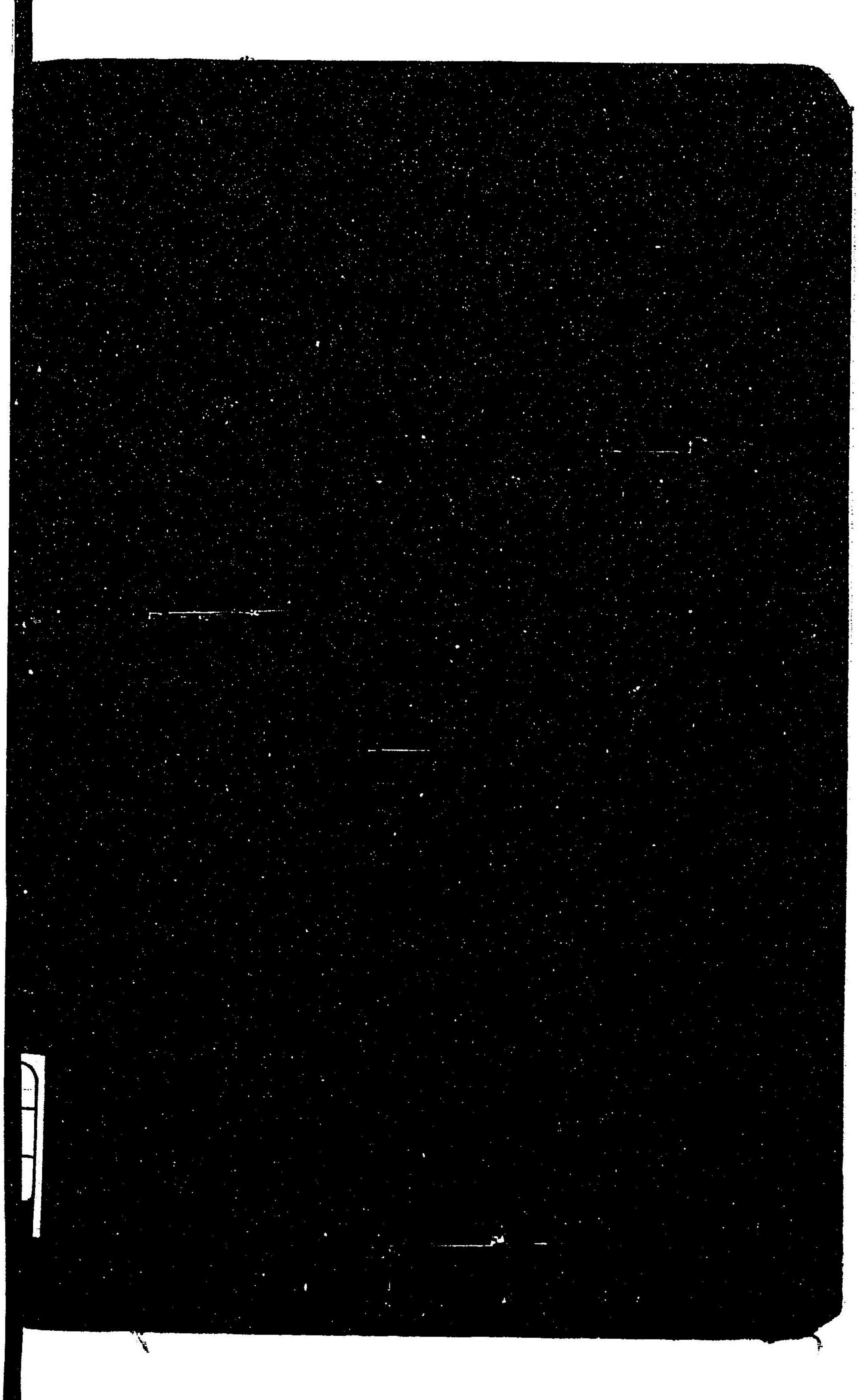
東京市神田區裏神保町一番地

印刷所 三省堂活版所

東京市神田區錦町三丁目二番地

版權所有





203.2
Ta715a

000240-000-0

203.2-Ta715

万国大年表

棚橋 一郎/編

M31

ACA-0400



